

第10回 2025年大阪・関西万博推進本部会議

令和6年4月12日（金）

大阪府・大阪市万博推進局



1. 大阪・関西万博の準備状況

大阪府・市の主な取組み

- ・会場建設費
- ・大阪メトロ中央線輸送力増強等
- ・大阪ヘルスケアパビリオン
- ・参加促進
- ・機運醸成
- ・賓客対応
- ・施工環境改善

2. 各専門部会の取組み

3. 大阪府域の経済波及効果

1. 大阪・関西万博の準備状況

大阪府・市の主な取組み

- ・会場建設費
- ・大阪メトロ中央線輸送力増強等
- ・大阪ヘルスケアパビリオン
- ・参加促進
- ・機運醸成
- ・賓客対応
- ・施工環境改善



大阪・関西万博に要する府市の費用について

	今後も含めた大阪府・市の費用総額の見通し※1	これまでの大阪府・市の予算への計上状況			
		令和6年度当初予算 (~令和5年度2月補正予算) ※2、3		計※4	
		大阪府	大阪市		
(1) 大阪府・市による会場建設費 (万博推進局)	最大約783億円 (最大2350億円を国、大阪府・市、経済界で1/3ずつ負担)	資料P4	269.6 (57.9)	269.6 (57.9)	655.0
(2) 夢洲地区埋立工事にかかる 一般会計負担 (万博推進局)	約21.4億円 (万博会場整備のために急ぎ施工した埋立工事)		0 (10.7)	0 (10.7)	21.4
(3) 大阪メトロ中央線輸送力増強等 (万博推進局)	約40.2億円 (一般交通への働きかけTDM含む)	資料P9	6.5 (7.7)	6.5 (7.7)	28.4
(4) 大阪ヘルスケアパビリオンの建設等 (万博推進局)	約118.6億円 (再生医療発信事業含む。別途、民間企業からの協賛金あり。)	資料P10	40.1 (14.0)	40.1 (14.0)	108.2
(5) 参加促進 (万博推進局)	約40.4億円 (ボランティアの受入準備・活動拠点の整備、自治体催事等)	資料P13	5.1 (1.1)	5.1 (1.1)	12.4
(6) 機運醸成等 (万博推進局)	約39.2億円 (大規模イベント、主要エリアでのシティドレッシング、情報発信等)	資料P15	6.0 (4.5)	6.0 (5.9)	22.4
(7) 誘致に要した費用 (万博推進局)	約4.2億円 (別途、経済界の負担あり。)		0 (2.3)	0 (1.8)	4.2
(8) (1)~(7)以外の費用 (他部局)	約278.4億円+今後の費用 (~令和6年度当初予算(債務負担行為分含む))		28.6 (3.2)	129.4 (46.6)	207.8
(1) ~ (8) 計	最大約1,325.4億円+今後の費用 (~令和6年度当初予算(債務負担行為分含む))		355.9 (101.4)	456.7 (145.7)	1,059.7

※1 (1)~(7)は現時点で見込まれる今後の費用を含む。
 ※2 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。
 ※3 下段の()に、令和5年度2月補正予算までの金額を記載している。
 ※4 令和6年度当初予算までの金額を記載している。

会場建設費

R6年度当初予算
53,931百万円

最大2,350億円(予備費130億円含む)の会場建設費を国、地元自治体、経済界が1:1:1の割合で負担することとしており、地元自治体については府市1:1で負担(府市の最大負担額783億円)

○全体事業費

(単位:百万円)

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度以降	合計
事業費	508	483	1,213	4,309	28,209	161,792※	38,486	235,000
府市負担額合計	169	161	404	1,436	9,403	53,931※	12,829	78,333

※予期せぬ万一の事態が発生した場合に備えての予備費(事業費130億円(府市負担額約43億円))を含む。なお、予備費執行にあたっては府市に事前協議。

(2024年度の事業内容)

- ・会場基盤整備や催事場等の施設の建設、植栽や舗装などの工事の実施 等

会場建設費及び運営費の執行管理

会場建設費については、博覧会協会が理事会毎に執行状況の報告と公表を行う。府市としても、その内容を確認するとともに、工事の変更や追加等については、新たに事前協議でコスト縮減の視点も含め内容の検証等を行うなど、より厳格に執行状況を管理。

運営費についても、博覧会協会の理事と監事で構成され、チケットの販売状況や、支出金額と内容、支出抑制策等について協議する「運営費執行管理会議」を設置しており、府市としても、必要に応じて改善策等を求める

また、博覧会協会内に総合調整(プロジェクト管理含む)及び財務管理の両者を所掌する立場から、収支バランスと予算の最適配分をチェックするCFO(最高財務責任者)を設置

会場建設費等の執行状況について、定期的・継続的に点検するため、経済産業省のもとに、外部専門家からなる「大阪・関西万博予算執行監視委員会」が設置され、府市もオブザーバーとして関与

こうした機会を通じて執行状況を厳格に確認したうえで、適時・適切に議会に報告

運営費執行管理会議

理事会
(四半期毎)

報告

運営費
執行管理会議
(役員(理事及び監事)・代理可)
説明項目の例
* チケット販売状況
* 運営費支出金額とその内容
* 支出抑制策

執行状況を説明

博覧会協会
(CFO)

2025年大阪・関西万博 予算執行監視委員会

博覧会協会・理事会
(CFO)

会場建設費及び運営費の執行状況などを報告、議論

四半期毎



経費の執行状況を報告

経済産業省
予算執行監視委員会

- ▶ 学識経験者、▶ 公認会計士
- ▶ 経済界の推薦委員
- ▶ 府・市の推薦委員 等

理事として
内容の確認・検証

構成団体
大阪府・大阪市、経済界

オブザーバ参加(府・市)

会場建設費の執行状況(2024年2月末)

(単位：億円)

執行項目	契約済			今後の予定		総合計
	金額	主な内容	前回比 (2023年11月末)	小計	主な内容	
大工区	920		+79			
PW北東工区	270	・大屋根（リング） ・パビリオンB、C ・管理施設、ゲート施設等の整備	+41	364	・会場の植栽、舗装、 照明等整備、サイン等設置 ・各施設の安全対策設備 他	1,284
PW南東工区	229		0			
PW西工区	264		+5			
GW工区	137		+33			
静けさの森工区	20		+0.3			
主要施設	259		+29			
大催事場	91	・各施設整備	+13	36	・各施設の安全対策設備 等	295
小催事場	47		+4			
迎賓館	38		+0.5			
テーマ館	49	・サテライトスタジオ、休憩等（14棟）	+0.1		・展示施設、ステージ等（6棟）	
若手建築家施設	34		+12			
土木工区	105	・園路基盤整備 ・雨水管、汚水管、給水管、熱供給管、 電気管路、通信管路	+6	27	・管路等撤去工事 他	132
インフラ整備 (電気・熱供給、通信、警備設備 等)	204	・電気・熱供給・通信設備 ・水質改善設備	+1	74	・警備設備 他	278
交通施設	88	・会場外駐車場等整備 ・桜島駅乗降場整備	+5	86	・会場外交通施設、 施設関係設備、周辺整備 他	174
環境評価、委託関係	52	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務	+0.3	5	・現契約案件の継続追加業務 他	57
合計	1,628		+120	592		2,220

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。

※一部、内訳端数調整有

予備費 130 億円

提供：2024.3.13博覧会協会理事会資料（抜粋）

運営費の執行状況(2024年1月末)

(単位：億円)

執行項目	契約済		今後の予定		総合計
	金額	主な内容	小計	主な内容	
会場管理費	147				
会場運営管理・来客対応費	56	プロジェクト・リスクマネジメント支援業務、営業実施計画策定業務ほか	372	清掃廃棄物処理、万博アプリ運営、防災対策(備蓄等)、会場内光熱水費ほか	519
ICT関連費	91	情報通信インフラ基本設計業務、ICT-PF整備、サイバーセキュリティ業務ほか			
事業運営費	65				
共創事業費	16	未来の都市共通展示の企画・設計、CDCプランディングPRほか	90	シグネチャーパビリオン展示運営、催事管理センター運営、公式行事(開会式・開会式等)ほか	155
テーマ事業費	40	テーマ館基本設計業務、テーマ事業総合監理業務委託ほか			
催事費	5	一般参加催事プロモーション、催事検討会議ほか			
住宅・公式参加国関係費	5	IPM運営、BIE総会のための渡航費ほか			
営業関係費	22				
広報宣伝費	5	起工式、教育プログラム、ホームページ運営ほか	73	メディアセンター運営、観光プロモーション、入場券プロモーションほか	95
入場券関係費	17	入場券プロモーション、入場券販売関連システムほか			
輸送管理費	78	シャトルバス輸送実施計画策定、案内誘導費(雑踏・渋滞対策)ほか	106	会場外駐車場運営、シャトルバス運行関連費用ほか	184
管理関係費	101	ESMS構築支援、職員手当・旅費、オフィス賃料、消費税ほか	106	職員手当・旅費、オフィス賃料、BIE納付金、消費税ほか	207
合計	413		747		1,160

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。

※一部、内訳端数調整有

提供：2024.3.13博覧会協会理事会資料(抜粋)

様々な広報媒体の活用等による、前売りチケットの販売促進に向けた取組みを実施

■ 広報誌やSNS等を活用した前売りチケット販売の周知

<府市の広報誌への掲載>

「府政だより」12月号、1月号

「大阪市民のみなさんへ」11月号、12月号、2月号

「市内各区の広報誌」11月号、12月号

※これらの他、今後、府内市町村の広報誌やSNS等への掲載の働きかけを実施

<SNS等を活用した周知>

X（旧Twitter）、Facebook、LINE、メールマガジン、おおさか公民連携つうしん、銭湯テレビバーナー、市役所1階ロビーモニター、区長コラム など

■ 機運醸成イベントにおける前売りチケット販売の周知

イベントに出展している「万博PRブース」において、チケット販売サイトのQRコードや各券種の料金を示すパネルを展示

■ 共済・互助の福利厚生事業を活用した職員向け販売

<地共済組合員・大阪府職員互助会員向け割引販売>

【販売開始】令和6年2月6日

【販売券種】超早割1日券大人（会期中4/13～10/13に1回入場可）

【取扱予定枚数】8,000枚

<大阪市職員互助会員向け割引販売>

【販売開始】令和6年6月3日(予定)

【販売券種】超早割1日券大人(会期中4/13～10/13に1回入場可)

【取扱予定枚数】52,000枚

※上記の他、公立学校共済組合員・大阪府教職員互助組合会員向け販売、大阪府市町村共済組合員向け販売についても調整中

大阪ヘルスケアパビリオン(概要)

R6年度当初予算
8,260百万円

「いのち」や「健康」の観点から未来社会の新たな価値を創造し、2050年を想定したミライのヘルスケア、ミライの都市生活を体験。オール大阪の知恵とアイデアを結集し、大阪の活力、魅力を世界に発信。

■ 概要

- ・テーマ : REBORN
- ・敷地面積 : 10,500㎡
- ・延床面積 : 9,800㎡
- ・建物規模 : 地上2階建て
建物高さ12m (一部約20m)

■ ロゴマーク



Osaka
Healthcare
Pavilion
Nest for Reborn

■ パビリオン外観 (イメージ)



■ 現場写真

今年10月には、建築工事が完了予定!



大阪ヘルスケアパビリオン(展示概要)

1. ブリーフィング
2. 体験用バンド発行

3. PHRポッド

4. リフトライド

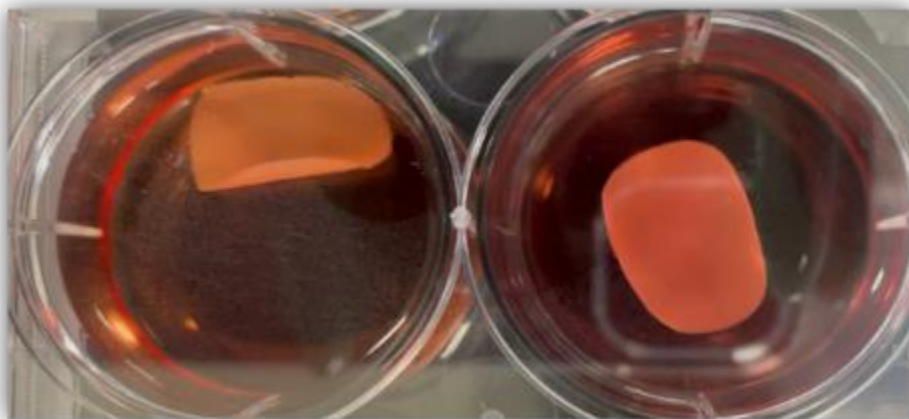
5. ミライの自分

6. ミライの
ヘルスケア

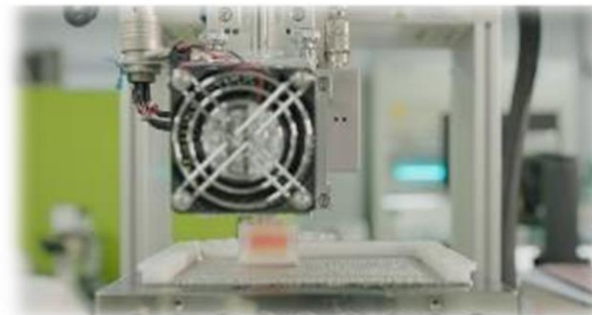
7. ミライの都市



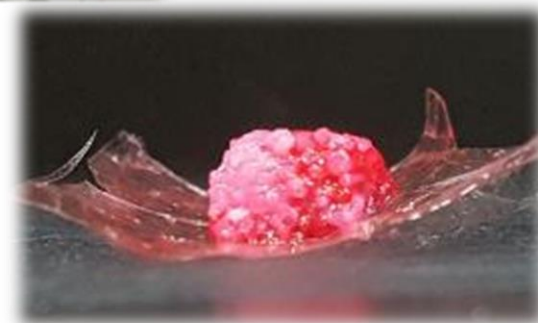
iPS細胞による生きる心臓モデル展示



培養肉展示



3Dバイオプリント技術を活用して生産



※写真はイメージ

アクアポニックス



地球をイメージした透明な球体で水耕栽培と陸上養殖の循環型生産システムを展示

リボンチャレンジ



大阪の優れた中小企業・スタートアップの技術・サービスを週替わりで展示
(377社の出展企業が決定)

参加促進の取組み((仮称)大阪ウィーク)

R6年度当初予算
298百万円

※参加促進部会資料で後述

会期中に会場で実施される自治体催事に向け、大阪府・市を中心に府内市町村と一体となつて、大阪の未来につながる様々な催事を開催し、楽しみながら「大阪」を体感いただく「(仮称)大阪ウィーク」の実現をめざす

開催概要：2025年「春」5月8日(木)～18日(日)、「夏」7月24日(木)～8月3日(日)、「秋」9月5日(金)～17日(水)の3期にわたり、“祭”をキーワードに様々な催事を展開

【コアイベント】

- ・EXPOメッセ……3期を通して、大阪の観光や産業、食文化などを来場者に体験してもらう「大阪43市町村の祭典」を開催
- ・EXPOアリーナ… 春：大阪各地のだんじり・やぐら・太鼓台などが大集合
夏：来場者も参加のもと盆踊りで世界記録に挑戦
秋：大阪ゆかりの音楽フェスティバル

【レギュラーイベント】

- ・その他、EXPOホール、ギャラリー、ポップアップステージ、大阪ヘルスケアパビリオン等でも、府市の各部局や各区、府内市町村が地域の特色を生かしたイベントを実施



参加促進の取組み(大阪・関西万博ボランティア)

R6年度当初予算
726百万円

※参加促進部会資料で後述

万博の「顔」として、国内外から大阪・関西、万博会場に訪れる人たちをおもてなしするボランティアを募集中



世界を迎えて、
世界が広がる

募集期間

2024年1月26日～4月30日

4月5日時点
応募状況
15,027人

活動期間

2025年4月13日～2025年10月13日

活動内容

- 開催期間中1日単位で5日以上
- 1日3～6時間程度
- 万博会場での案内・歓迎など様々な活動のサポートや、主要駅や空港等のまちなかでの万博情報などの案内、大阪ヘルスケアパビリオンでの来館者サポートなど

応募要件

- 2025年4月1日時点で、満18歳以上の方
- 日本語による会話（意思疎通）が可能であること
- 面談、研修への参加が可能であること など

会場内での案内もまちなかでのおもてなしも

機運醸成の取組み(大阪・関西万博の認知度)

2023年12月に大阪府・市が全国6000人を対象にアンケートを実施

<全体の傾向>

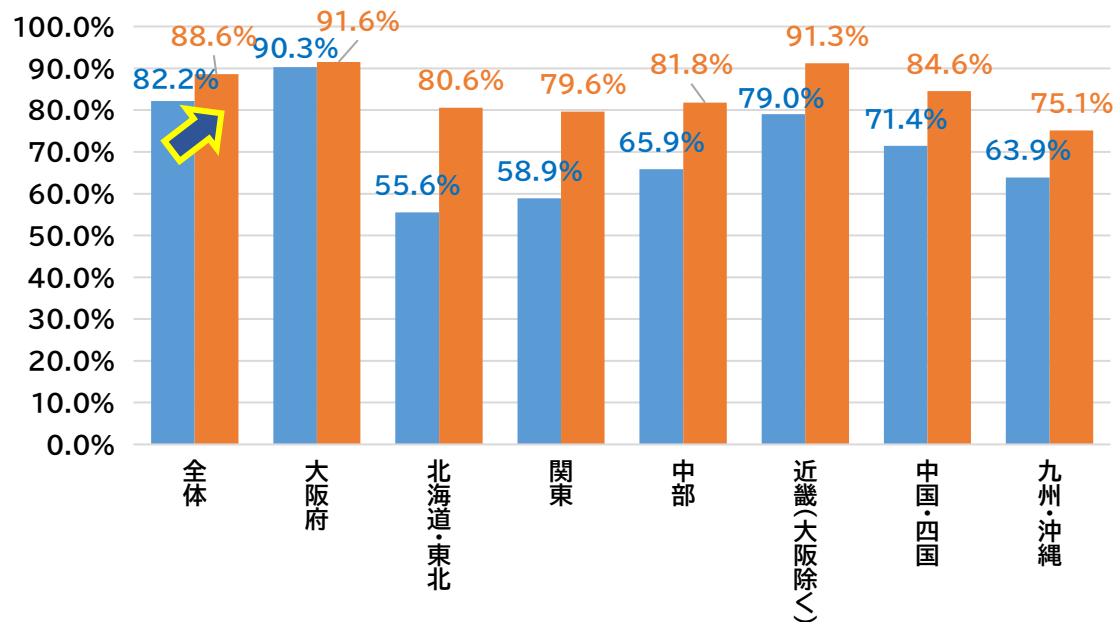
・認知度は6.4pt増加(82.2pt→88.6pt)した一方で、来場意向度は7.4pt減少(41.2pt→33.8pt)。

<地域別>

・大阪府は、認知度・来場意向度ともに全国に比べて数値が高い。認知度は微増しているが、来場意向度が減少。
・府外は、認知度・来場意向度ともに府内よりも数値が低い。認知度は大幅に増加している一方で、来場意向度については概ね減少。

▶ 全国的な機運醸成が課題

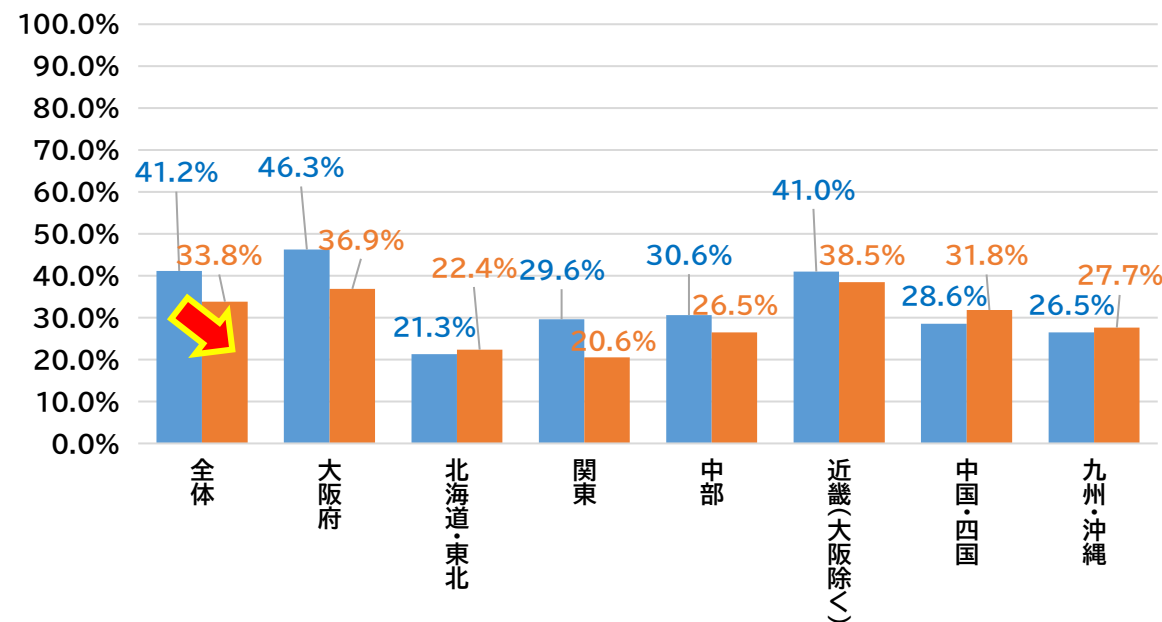
【認知度】



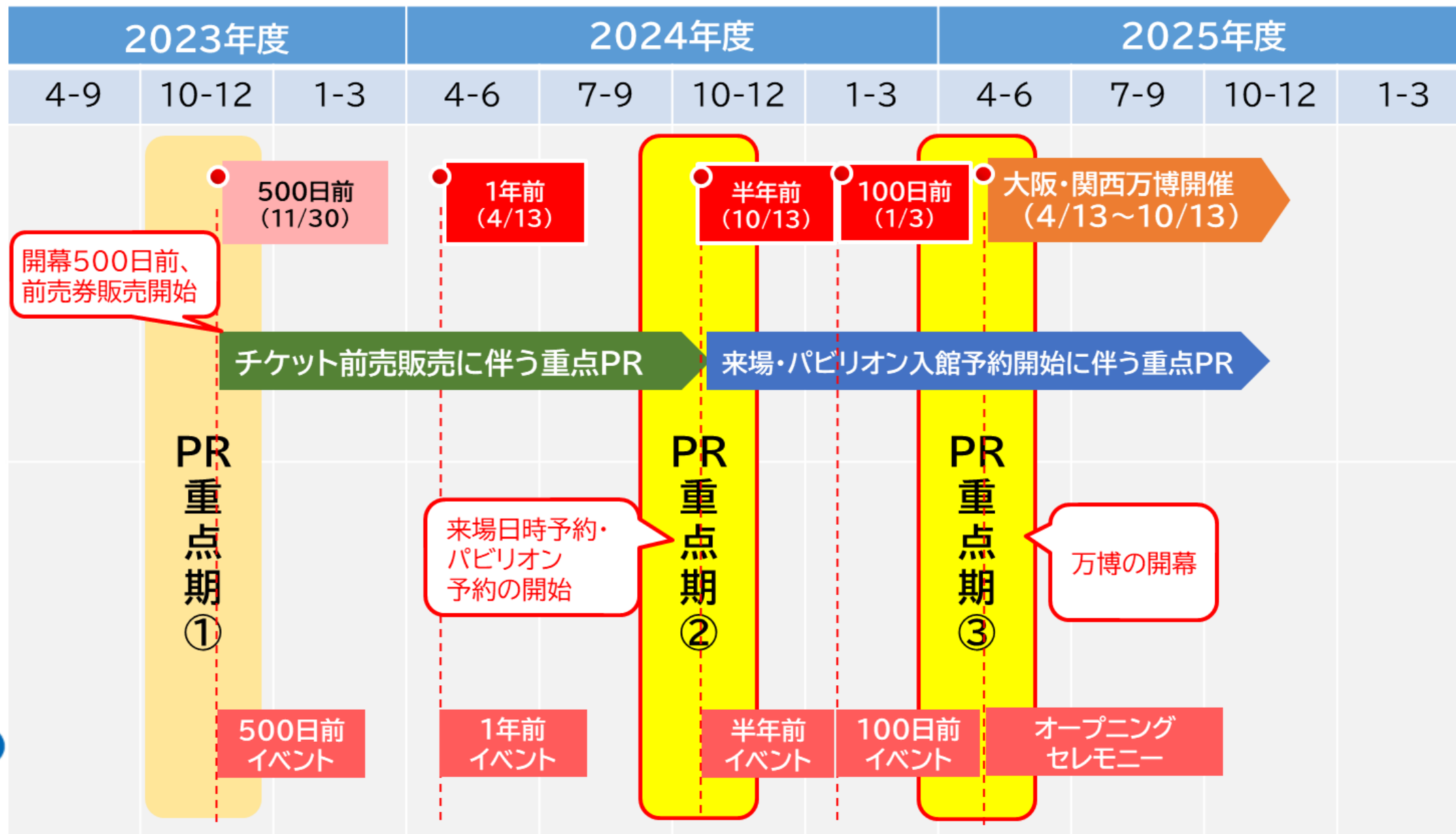
【来場意向度】

R4.12調査

R5.12調査



万博の盛り上げに向けたPR重点期



開幕を見据えて戦略的かつ効率的な広報・プロモーションを実施

■ 万博の具体的な動き・内容等、万博の理解促進につながるコンテンツを一層充実

- ・万博会場内やパビリオンで実装される最先端技術やサービスなど、万博で体験できる具体的な中身を発信
- ・大屋根(リング)の見学会の実施や定点カメラの映像など、会場整備の最新情報を発信
- ・SNSを含むデジタルメディアの積極的な活用や各種ツール・媒体の組合せによる効果的な発信 など

■ 全国からの来場を誘引するため全国への発信強化

- ・開幕1年前(4月)、半年前(10月)、100日前(1月)等の節目を捉えた大規模集客イベント
- ・全国知事会や指定都市市長会などの行政ネットワークを最大限活用したPRの呼びかけ など

■ 海外に向けた情報発信

- ・周年記念を迎える姉妹都市(サンパウロ(55周年)、上海(50周年)、ハンブルグ(35周年))との交流や、海外パビリオンの起工式、表敬訪問・意見交換などの機会を活用した発信
- ・関西国際空港や主要駅(JR新大阪駅、岡山駅、広島駅、博多駅等)などのゲートウェイにおける万博や地元大阪の魅力発信 など

■ シティドレッシングによる万博機運の盛上げ

- ・大阪府内主集客エリアの沿道バナーフラッグの掲出やデジタルインスタレーションを用いた大規模なコンテンツの投影、大阪市役所玄関前に設置している公式キャラクターモニュメントを活用してのPR、デジタルサイネージ など



これまでの取組み(主なもの)

- 官民が一体となり、府内外の約500件のイベント等において万博PRを展開



「御堂筋オータムパーティー2023 御堂筋ランウェイ」
(2023年11月3日)

- 海外パビリオンの起工式や姉妹都市との交流などの機会を活用した発信



メルボルン市訪問時におけるPR(2023年10月25日)

- 車両・車体のラッピング



- バナーフラッグ・サイネージ・ビッグモニュメント



デジタルサイネージ(大阪駅前地下道)

国内外から来阪する多数の賓客に、満足いただける接遇を実施するための体制を整備

■ 想定される接遇内容

- ・協会主催行事への出席：開会・閉会式や参加国・国際機関の祝祭典日(ナショナルデー・ス ペシャルデー)等の行事への特別職等の出席(必要に応じ各言語の通訳を同行)
- ・会場内視察等：地元大阪が出展する「大阪ヘルスケアパビリオン」等の会場内の視察の調整・同行
- ・会場外視察等：会場外の施設等への視察の調整・同行や、特別職への表敬訪問の実施
- ・地元歓迎レセプション：地元自治体として、参加国に対し歓迎の意を表するためのレセプションの開催

■ 2024年度の実施内容

- ・受入計画概要策定やマニュアル整備など、賓客受け入れ実務の準備、レセプション準備
- ・賓客受け入れ効率化のためのシステム構築
- ・通訳手配やシフト案の作成など、万博準備のために来訪する賓客受け入れ業務 等

1. 大阪・関西万博の準備状況

大阪府・市の主な取組み

- ・会場建設費
- ・大阪メトロ中央線輸送力増強等
- ・大阪ヘルスケアパビリオン
- ・参加促進
- ・機運醸成
- ・賓客対応
- ・**施工環境改善**



取組状況

①交通アクセスの改善

②工事現場の環境改善

③物流交通対策

④建設業界への働きかけ

⑤行政手続き

⑥さらなる取り組み

・インフラ工事の工程前倒し

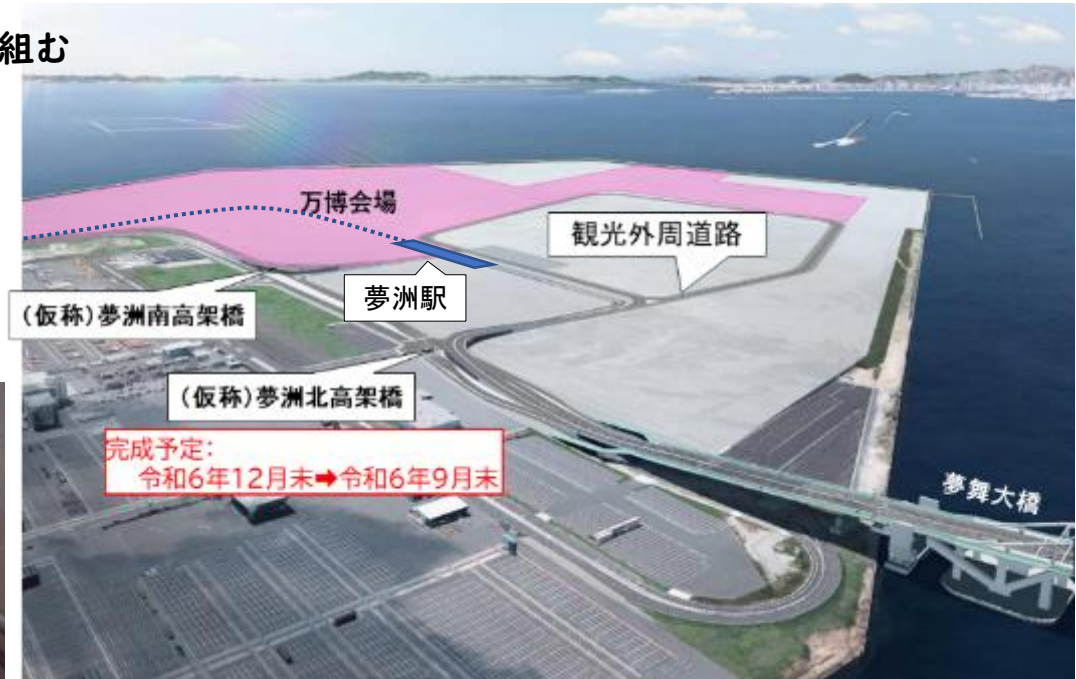
【今後の取り組み】

■道路工事

(仮称) 夢洲北高架橋を早期完成させ、工事車両通行に活用していく。令和6年12月末完成予定から前倒して令和6年9月末に完成予定。他の道路インフラについては、令和6年12月末の完成予定であるが1日でも早く完成できるように、工事を進捗させる。

■鉄道工事 **更新**

万博関係者の通勤車両の削減等に寄与するよう、Osaka Metro中央線の夢洲駅までの鉄道運行を万博開幕の2か月以上前の令和7年1月末に開業できるよう取り組む



～万博工事期間中のテールヘビーに向けた対応～

対策箇所

1) 舞洲東交差点 常時左折可

更新

位置図

対策内容

・南側東西方向・東側南北方向の横断歩道を撤去し、此花大橋から夢洲に向かう左折方向を常時左折可

実施時期

令和6年2月27日実施済

※ 万博開催中の対策を前倒して実施



2) 阪神高速 湾岸舞洲出口の改良

対策内容 ※阪神高速が実施

湾岸舞洲出口の神戸方面と堺方面の合流部の2車線化

実施時期

現在、関係機関と協議中
(令和6年6月完成を目指す)

位置図



3) 阪神高速 天保山JCT渡り線の改良

対策内容 ※阪神高速が実施

天保山JCT渡り線の大阪港線から湾岸線への合流部の2車線化

実施時期

現在、関係機関と協議中
(令和6年6月完成を目指す)

位置図



4) 咲洲トンネル西交差点外の改良

対策内容

- ①咲洲トンネル西交差点の信号秒数の調整
- ②咲洲トンネル西交差点の車線幅員の拡幅
- ③ATC北交差点の右折車線の2車線化

実施時期

- 現在、関係機関と協議中
- ①令和6年1月24日実施済
 - ②令和6年8月末完成を目指す
 - ③令和6年7月末完成を目指す

位置図



【今後の取り組み】

- ・今後、随時、万博パビリオン工事等の工程を確認したうえ、工事車両台数の想定を見直し、交通影響検討を実施していく。

取組状況

①交通アクセスの改善

②工事現場の環境改善

③物流交通対策

④建設業界への働きかけ

⑤行政手続き

⑥さらなる取り組み

・工事車両の出入口の拡充

【今後の取り組み】 **更新**

- ・工事期間中の円滑な現場へのアクセスを確保するため、工事車両出入口を3箇所から8箇所を増設。（設置場所・時期について図に記載のとおり博覧会協会と調整済）
- ・観光外周道路を万博工事車両の待機場所として段階的に活用。

更新



※ 今後の調整状況により、変更となる場合がある。

取組状況

①交通アクセスの改善

②工事現場の環境改善

③物流交通対策

④建設業界への働きかけ

⑤行政手続き

⑥さらなる取り組み

・バックヤードの確保

建築工事の資材置き場、現場事務所、作業員の駐車場等に活用することを想定

【今後の取り組み】

夢洲の市有地等をバックヤード用地として提供

①南東部エリア(12ha)

建設発生残土の受入地として整備

更新

・東側(6ha程度)をバックヤード用地として
R6.2月より順次活用(建設作業員車両用
駐車場等)

②夢洲交通広場

周辺工事の工事ヤードとして使用中、
使用エリアを調整し活用可能なように調整
(1haのうち、提供範囲を段階的に調整)

・直ちに活用可能(0.05ha)
・R6年度夏以降活用可能(0.2ha)
※面積は周辺工事との調整による

③夢洲コンテナターミナル

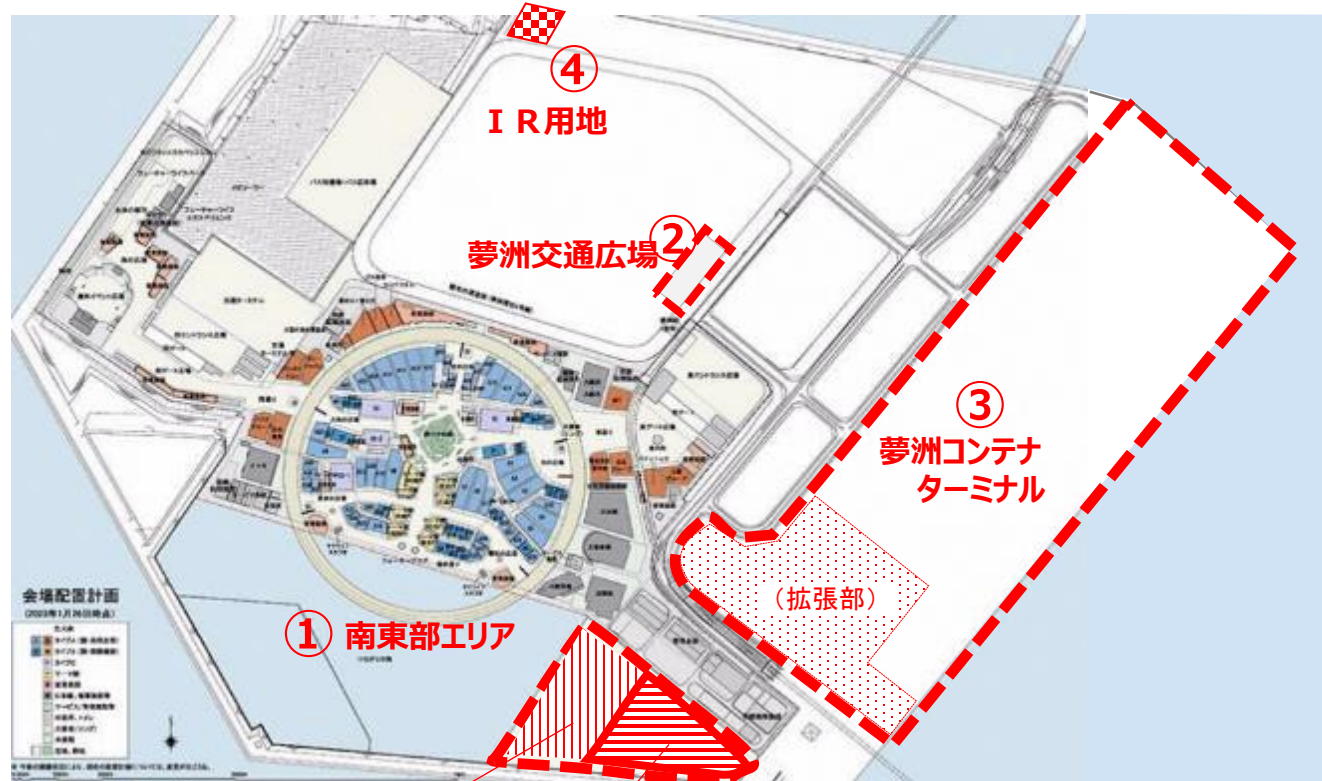
資材がコンテナにより海上輸送される場合、
コンテナターミナルの事業者において、
コンテナの荷下ろし、コンテナターミナル内
の蔵置に対応

・現状において対応可能(コンテナに限る)
(R6年4月から活用可能な拡張部含めてターミナル全体で対応)

④IR用地

更新

IR工事に支障のない範囲(北西部約1ha)について、万博工事で活用可能なように調整。(直ちに活用可能(約1ha))



残土受入エリア

バックヤードとして活用中
(6ha程度)

取組状況

①交通アクセスの改善

②工事現場の環境改善

③物流交通対策

④建設業界への働きかけ

⑤行政手続き

⑥さらなる取り組み

・物流交通対策

空コンテナ返却場所一時移転、ターミナルゲート時間延長については、万博開催期間中（夢洲周辺交通のピーク時）だけでなく、工事期間中においても想定を上回る工事車両等の集中といった非常事態が発生・予測される場合など必要に応じて実施できるよう港湾関係者と調整を行っていく

①車両待機場の整備 更新
 (500台分追加整備し、700台分確保)


- ・ 240台分 **済**
- ・ 260台分(暫定)
 - ・ 令和5年10月 80台分供用済
 - ・ 令和6年 3月 20台分供用済
 - ・ 令和6年12月 160台分供用予定(前倒しを検討)



④ターミナルゲート時間延長
 (30分で最大200台分散)

(通常) 平日：8:30～11:30, 13:00～16:30
 土曜：8:30～11:30


- ・ 非常事態が発生・予測される場合など必要に応じて実施できるよう港湾関係者と調整中



②荷捌き地の拡張（ゲート増設） 更新
 (ゲート前待機スペース100台分確保)

(ゲート増設(17→22ゲート)により、1時間当たり120台削減)

- ・ 荷捌き地の拡張は、令和6年3月に完成済
- ・ 増設ゲートは、令和6年度中に運用開始予定であるが、引き続き、ターミナル事業者へ早期整備について要請

(写真はイメージ)

③CONPAS(※)の導入 済 更新
 (ゲート処理時間の短縮等)

- ・ 令和4年1月～令和5年8月に、試験運用を5回実施
- ・ 令和6年3月 運用開始済

(※) Container Fast Passの略

⑤咲洲へシフト (空コンテナ返却場所一時移転)

- ・ 令和3年10月に夜間陸送による社会実験を実施
- ・ 令和4年11～12月に海上運搬による社会実験を実施
- ・ 非常事態が発生・予測される場合など必要に応じて実施できるよう港湾関係者と調整中

①車両待機場の整備 済
 (150台分追加整備)

⑤咲洲へシフト (空コンテナ返却場所一時移転)

- ・ 令和4年11～12月に海上運搬による社会実験を実施
- ・ 令和5年1月にC6,7ガントリークレーン製作設置工事に着手
- ・ 非常事態が発生・予測される場合など必要に応じて実施できるよう港湾関係者と調整中



2. 各専門部会の取組み



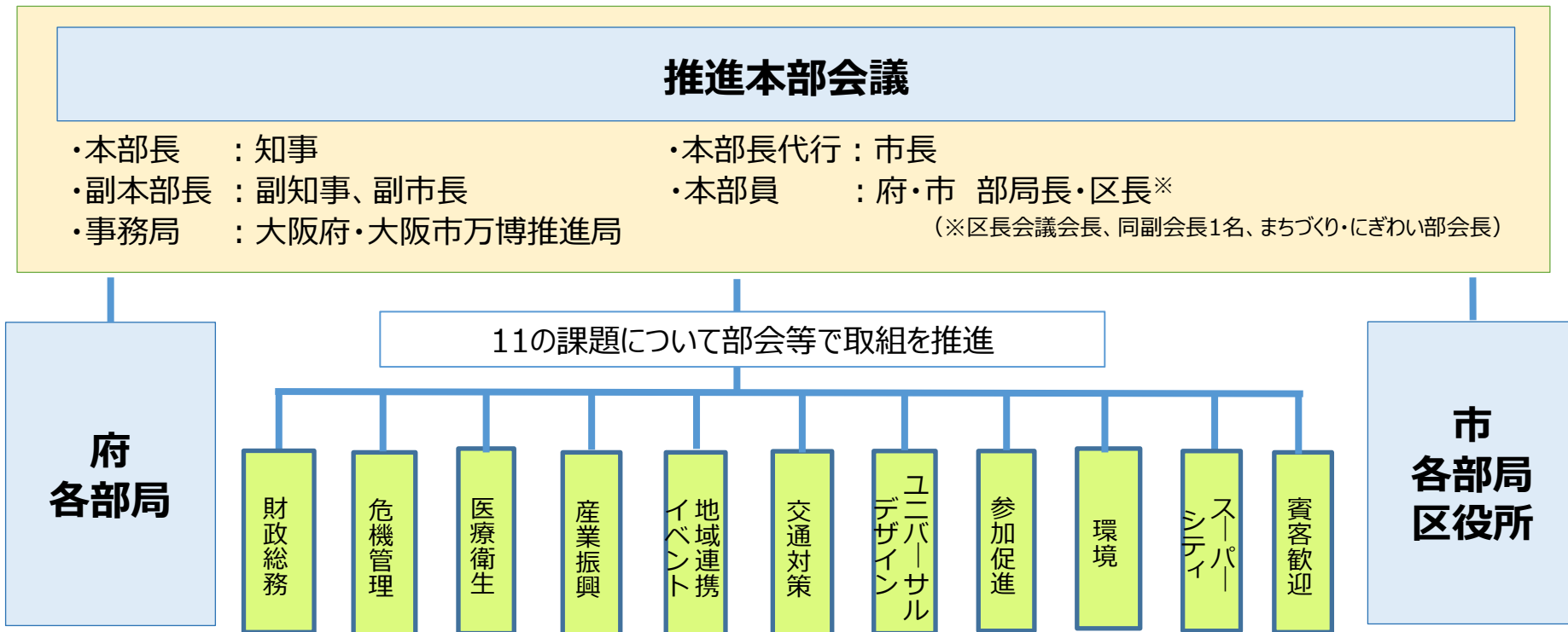
■ 設置目的

大阪・関西万博の成功のため、開催主体である国の要請のもと、博覧会協会と連携しながら、知事・市長の指揮・命令により、**府市の各部局や区役所が主体的に自らが有する機能をフルに発揮し、迅速・的確に取組みを進め、万博の円滑な開催を支援することを目的**として、令和4年4月に推進本部を設置。

■ 取組み状況

府・市一体での対応が求められる11の項目について、専門部会等において課題の抽出や今後取組むべき方向性を検討。

■ 本部体制



〈構成〉 部会長：大阪府政策企画部長

副部会長：大阪市政策企画室長

大阪府	大阪市
政策企画部、総務部、財務部	総務局、政策企画室、財政局
万博推進局	

【万博期間中の取組み（現時点）】

(1)大阪版万博アクションプランの実現

▶大阪版万博アクションプランに定める2025年時点の取組の実現をはかる

- ・関係部局と緊密に連携しアクションプランに掲げた取組みの実現を図り、万博開催時に実証・実装を行うことで、新たなイノベーションの創出や、万博後の産業化等につなげる。

(2)円滑な万博開催の下支え

▶関係者と調整を図り、万博の円滑な運営を下支えする

- ・博覧会協会をはじめ関係機関等と緊密に連携し、万博の円滑な開催を下支え。

【2024年度の取組み】

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
(1)大阪版万博APの改訂 国への要望	AP進捗管理			
	国への要望	AP改訂 ^⑥	国への要望※	AP改訂※ ^⑫
(2)万博関連予算の令和7 年度事業の検討支援や 予算要求状況等の把握・ 共有	R7年度の取組に向けた検討支援及び予算要求状況の把握・予算編成			予算案公表 ^②
(3)令和6年度万博関連事 業の確実な実施	R6年度の取組に関する予算執行状況の把握及び事業の進行管理			
(4)万博開催に向けた組織 体制の確保等に関する検 討・調整	組織改正 ^④	部局ヒアリング・組織編成		

※必要に応じ実施

〈構成〉 部会長：大阪府危機管理監 副部会長：大阪市危機管理監

大阪府	大阪市
危機管理室、財務部、健康医療部、都市整備部、警察本部	危機管理室、消防局、建設局、デジタル統括室、区役所
大阪都市計画局、大阪港湾局	

【万博期間中の取組み（現時点）】

安全・安心な万博開催に向けた危機管理体制の構築

▶安全・安心な万博開催に向け、警察・消防・危機管理をはじめとする関係部局が連携した体制を構築

(1) 情報連絡体制

・博覧会協会と連携し、万博期間中の情報連絡体制を構築

(2) 警備体制

・会場警備体制及び会場周辺等の安全対策に必要な拠点や装備資機材等を整備

(3) 消防防災体制

・会場内に大阪・関西万博消防センターを設置し、当該施設に消防車や救急車等の車両を常駐

・万博開場時間帯は市内から他の消火隊を臨時的に移動配備

・救急車については、来場者数や熱中症の発生など救急需要に応じた台数（1～3台）を移動配備

安全・安心な万博開催に向けた危機管理体制の構築

(4) 博覧会協会及び鉄道、バス等の公共交通機関等の関係機関と連携した万全な体制

・南海トラフ巨大地震等の大規模自然災害や危機事象を想定した訓練を通じた、府市関係部局、博覧会協会及び鉄道、バス等の公共交通機関等の関係機関と連携した万全な体制

(5) ターミナル駅周辺における帰宅困難者対策（備蓄物資の配備等）

・万博開催期間中に災害が発生した場合、市内に集中する来阪者への対応として、帰宅困難者がターミナル駅周辺等に滞留することにより発生のある二次災害を防止し、安全安心に滞在できる都市を実現するため、一時滞在施設の備蓄支援を実施

(6) その他災害発生を想定した各種対策

・来場者の帰宅支援、近隣の一時滞在施設の確保、備蓄品の配送ルート等や防災情報の発信強化（多言語対策含む）について、博覧会協会、府、市の担当者による定例ミーティングを行い、三者の連携・協力のもと、検討した各種対策を実施

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：1,035百万円

※(2)府警本部予算、(3)大阪市消防局予算、(4)健康医療部予算、(5)大阪市予算

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
(1)連絡体制・危機管理体制	<p>④ 博覧会協会と連携した情報連絡体制の構築4月素案</p> <p>⑦ 7月案</p>	構築した体制に基づき、	各種訓練を実施。得られた課題を体制等に反映	<p>①</p> <p>②</p>
(2)警備体制 (会場警備体制の整備、及び会場周辺等の安全対策等) R6当初:681百万円	会場警察隊（仮称）設置に伴う庁用品、重大事案等対処資器材、EVパトカー等の導入等に係る調達・準備			
(3)消防防災体制 (消防整備運営事業) R6当初:233百万円	万博消防隊の活動資器材及び消防拠点整備等に係る調達・準備		消防拠点一部運用開始	消防拠点運用開始
(4)博覧会協会と連携した各種訓練の実施 R6当初:8百万円 (DMATによる局地災害訓練) ※博覧会協会が実施する各種訓練にも参加予定	<p>④ 地震対応訓練【4/23AM】</p>	<p>⑦ 台風対応訓練【7月中下旬】</p>	<p>協会・府・市合同図上訓練【時期は今後調整】</p> <p>DMATによる自然災害訓練（情報伝達訓練）</p>	<p>① 地震津波災害対策訓練【1/17】</p> <p>国民保護訓練・② DMATによる局地災害訓練【2/4】</p>
(5)ターミナル駅周辺における帰宅困難者対策（備蓄物資の配備等） R6当初:113百万円	一時滞在施設との調整（保管場所、配備数など）		業者との契約	備蓄物資の購入、配送、配備 〔災害備蓄用飲料水・保存食、非常用アルミ防寒シート、携帯トイレ、流せるポケットティッシュ（予定）〕
(6)万博期間中の災害発生を想定した各種対策の検討	～博覧会協会、府、市の担当者による月2～3回の定例ミーティング～			
	帰宅支援、一時滞在施設、備蓄品の配送ルート素案を合同訓練までに取りまとめ	防災情報の発信強化策のとりまとめ	訓練前の調整及び訓練結果で得た課題を対策に反映	

〈これまでの取組実績〉

警備分科会(2023年9月)、防災分科会(2023年10月)、危機管理部会(2024年3月)をそれぞれ開催し、以下の事項について共有・確認を実施

【警備】

大阪府警が、万博開催に向けた取組み項目・ロードマップを提示。危機管理・安全対策に必要な万博会場警察隊等の設置運営や来場者の安全対策等についてR6年度に予算要求を行うことを共有→概ね予算要求通り

【防災】

- ・万博開催期間中に災害等が発生した場合を想定し、既存の防災・危機管理体制での対応の可否について、府地域防災計画等の各種計画をもとに分析。連絡通報体制及び外国人を含めた土地勘のない方への適切かつ迅速な防災情報（災害情報・避難場所・避難ルート等）の提供に課題があるため、今後、博覧会協会を含めた連絡通報体制の構築や、大阪防災アプリの周知・活用に取り組むことを確認
- ・大阪市消防局が、万博に必要な消防体制の検討状況を提示。会場内に設置する大阪・関西万博消防センターや配置車両等について共有
- ・博覧会協会とともに抽出した、万博期間中の災害発生時に必要となる対策等について確認
 - ✓ 来場者の帰宅支援（搬送ルートの検討、関係機関との調整等）
 - ✓ 近隣の一時滞在施設の確保
 - ✓ 備蓄品の配送ルート等の検討
 - ✓ 万博期間中の防災啓発情報発信の強化(多言語対策含む)等

〈構成〉 部会長：大阪府健康医療部長 副部会長：大阪市健康局長

大阪府	大阪市
健康医療部	健康局、消防局、区役所

【万博期間中の取組み（現時点）】

（１）救急医療体制

▶医療機関との協力体制構築によるスムーズな救急搬送の実施、会場を含む救急医療状況のモニタリング

- ・府内の救急医療体制ひっ迫抑制等の観点から、会場からの搬送患者を受け入れる医療機関と構築した協力体制を運用
- ・救急ひっ迫等の兆候が見られた場合、医療機関に対して積極的な患者受入れの協力要請等を行うため、関係機関と連携し、会場内外の救急医療状況のモニタリング実施

（２）来阪外国人対応

▶医療機関等における多言語対応

- ・ビデオ通訳及びフランス語を加えた 8ヶ国語対応の遠隔医療通訳サービスにより、医療機関等への機能を拡充し、外国人患者に対応
- ・外国人患者受入医療機関の拡充により、来阪外国人の医療需要増加に対応

(3) 解毒剤の供給体制の確保（毒劇物の適正管理含む）

▶ 解毒剤の供給体制の確保及び事故発生時の対応体制の確保

- ・テロ発生時に必要な解毒剤を確保するとともに、予め構築した供給体制により、万一の有事発生時に対応
- ・毒劇物取扱施設へ事故発生時の被害拡大防止措置を周知

(4) 感染症対策

▶ 大阪・関西万博感染症情報解析センターを核とした強化サーベイランスの実施、下水サーベイランスの実証研究

- ・大阪府、大阪市、大阪健康安全基盤研究所、国立感染症研究所で構成する大阪・関西万博感染症情報解析センターにおいて、会場等から収集した情報の解析や、関係機関へ情報還元を行うことで早期対応を実施
- ・万博会場周辺で採水し、下水サーベイランスの実証研究を実施

(5) 衛生対策

▶ 会場内外の環境、食品衛生関係施設に対する監視指導等

- ・会場内に設置される会場衛生監視センターにおいて、会場内の環境、食品衛生関係施設の監視指導や検査等を実施
- ・保健所等において宿泊施設や万博に関連する食品関係施設に対する監視指導等を実施

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：129百万円

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
(1) 救急医療体制 R6当初:8百万円	医療機関との協力体制構築 搬送に関する訓練		DMATIによる自然災害訓練 (情報伝達訓練)	DMATIによる局地災害訓練 (国民保護訓練) 実地訓練※ ※博覧会協会主催
(2) 来阪外国人対応 R6当初:86百万円	契約準備等	遠隔医療通訳サービスの拡充、外国人患者受入医療機関の拡充		外国人患者受入支援サイト（おおさかメディカルネット）の随時更新、周知啓発
(3) 毒劇物適正管理 R6当初:5百万円	テロを想定した解毒剤の品目・数量、供給体制等検討		医薬品等の確保供給等に関する業務委託	毒劇物取扱施設への監視指導、啓発、講習会の実施、事故発生時の対応体制整備
(4) 感染症対策 R6当初:14百万円			感染症情報解析センター設置 ●	強化サーベイランスの実施
(5) 衛生対策 R6当初:16百万円			会場衛生監視センター設置 ●	会場内向け講習会
	そ族昆虫類生息状況調査			
	宿泊施設や食品関係施設の監視指導・講習会の実施			

〈これまでの取組実績〉

令和5年7月31日 第2回医療衛生部会を開催

- ・「2025年日本国際博覧会食品衛生及び環境衛生対策要綱」の策定 等

令和5年11月9日 第3回医療衛生部会を開催

- ・万博開催に伴う「救急医療体制実施計画（素案）」の策定
- ・「大阪・関西万博感染症情報解析センター設置要綱」の策定 等

令和6年3月22日 第4回医療衛生部会を開催

- ・万博開催に伴う「救急医療体制実施計画」の策定 等

このほか、救急医療分科会（計11回）や衛生分科会（計11回）、感染症関係5者会議（計9回）等において随時検討を行うとともに、博覧会協会の実施する医療救護協議会や会場衛生協議会、内閣官房の実施する感染症対策等分科会において、各課題について検討。

〈構成〉 部会長：大阪府商工労働部長

副部会長：大阪市経済戦略局長

大阪府	大阪市
商工労働部、環境農林水産部、府民文化部	経済戦略局

【万博期間中の取組み（現時点）】

（1）万博を契機とした社会実装の実現

▶万博開催時を一つの到達点とした社会実装を見据えた技術革新

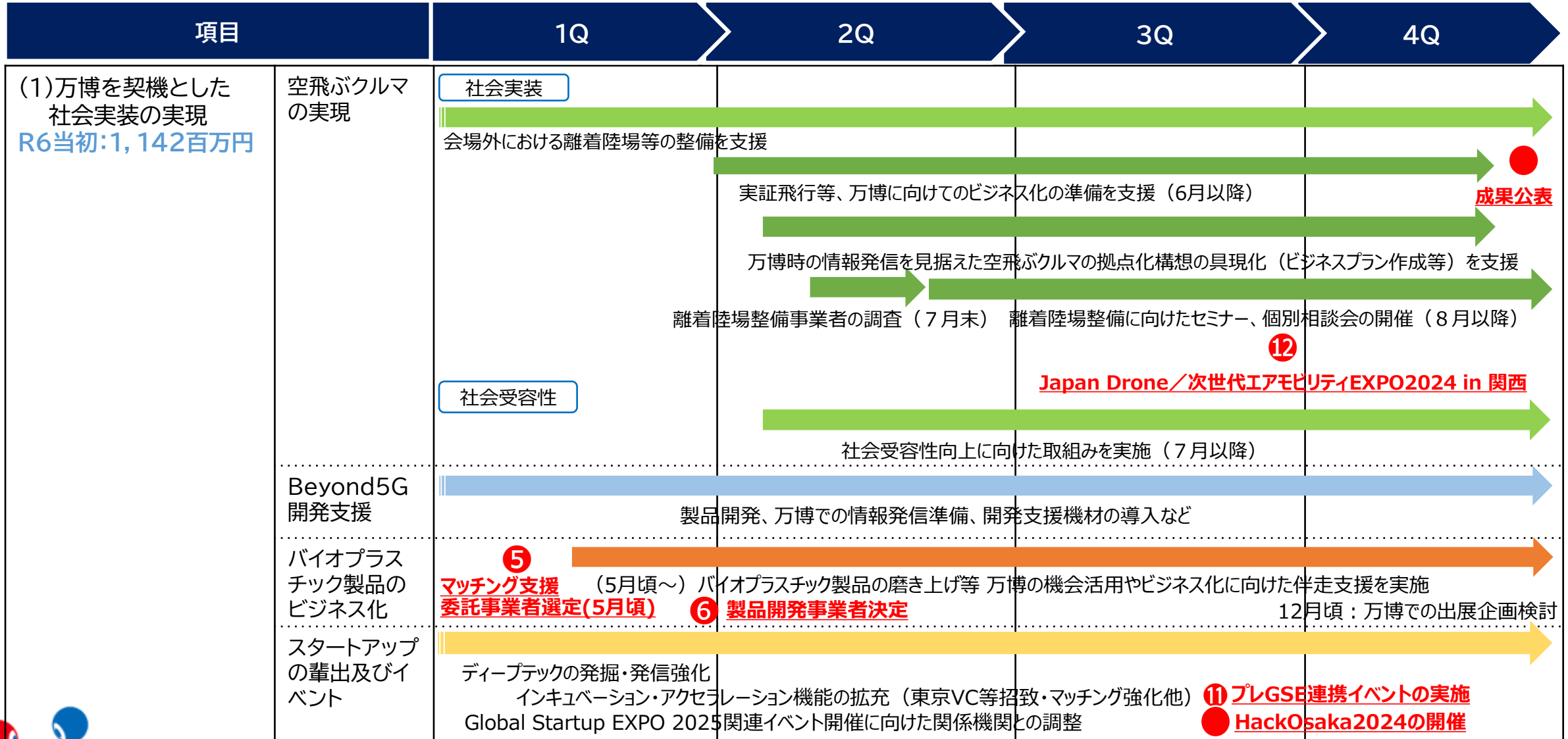
- ・万博での「空飛ぶクルマ」の実現、Beyond 5Gへの対応、バイオプラスチック製品のビジネス化など、万博を契機とした技術革新の社会実装
- ・規模拡大型スタートアップの輩出、スタートアップの海外進出の実現
- ・中之島クロスにおける再生医療等の産業化の推進
- ・ヘルスケア関連の革新的技術の展示・体験会等を行う「健都万博」の開催、及び産学官民が連携した実証事業の実施

（2）万博を活用したビジネス機会の創出・拡大

▶万博がなければリーチすることができなかった、会場内外におけるビジネス機会及び万博への参画機会の創出・拡大

- ・大阪産(もん)の万博会場内外での活用、大阪ウィーク内でのPRの実施
- ・商店街の魅力発信の継続と、観光コンテンツ化の拡充、ノウハウ普及
- ・海外展開をめざす中小企業の、万博会場内外における展示会や商談出展の実現
- ・大阪府・市ははじめ支援機関が一体となって海外企業等を受け入れるワンストップ窓口の整備、迅速かつ適切な海外ニーズへの対応
- ・中小企業等を対象とした商品（大阪土産）の磨き上げ支援、万博訪問者に対する代表商品の販売・PR
- ・大阪ウィーク内での中小企業等の魅力発信
- ・万博のテーマ等に関するMICE（国際会議等）の開催

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：1,586百万円



【2024年度の取組み】 R6 年度当初予算：1,586百万円

項目		1Q	2Q	3Q	4Q
(1)万博を契機とした 社会実装の実現 R6当初:1,142百万円	再生医療等の 産業化の 推進	⑤ 実施運営等事業 者の選定	⑥ Nakanoshima Crossオープン (6月下旬)	12月末頃:未来 の医療プレEXPO を実施	1月頃:NQ入居業者 等の先進的な取組み を活かした映像コンテン ツによる情報発信 2月頃:患者等向 けフォーラムを 実施
	健都万博の 開催	⑥ 実施運営等 事業者の選定	技術展示含むイベント実施 (万博会期中) プレイベント実施に向けた準備・各種手配等	⑨ プレス発表	③ プレス発表
(2)万博を活用した ビジネス機会の創出・ 拡大 R6当初:443百万円	大阪産(もん) の万博会場 内外での活 用拡大	大阪ウィーク内でのPR 出展内容の企画調整 (5~7月)	⑦ 委託事業者を決定	実施に向けた準備・調整など	
	外国公的機 関等による 経済ミッシ ョンの受け 入れ相談窓 口の整備等	視察受入企業の情報集約・コンシェルジュの設置運用	中小企業への参加勧奨・視察受入企業の情報集約 (DB作成) (~10月)	⑩ 受付開始 (コンシェルジュ運用)	
		大阪海外ビジネスワンストップ窓口			
		ワンストップ窓口設置立ち上げ・稼働 (4~7月)	⑧ ビジネス相談問い合わせフォームでの受付・対応開始 (8月頃~)		
		ビジネスアドバイザーの確保等			
		海外ビジネスアドバイザー制度立ち上げ (4~7月)		アドバイザーによるビジネス相談、セミナー等開催支援 (8月頃~)	
万博会場内 外における展 示会等の実 現	リボンチャレンジ				
	出展企業追加募集 (~7月)				① 出展準備 出展企画詳細を決定
		8月頃:ガイドライン完成		12月頃:出展企業マニュアル完成	
	広報紙スタート (5月~)				

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：1,586百万円

項目		1Q	2Q	3Q	4Q
(2)万博を活用した ビジネス機会の創出・ 拡大 R6当初:443百万円	万博会場内外 における展示 会等の実現	カーボンニュートラル ⑥ 技術開発・実証事業者の選定(6月末頃)	万博の会場内外での展示や活用に向けて伴走支援	③ 万博期間中の展示予定等プレス発表	
		大阪代表商品 大阪代表商品の募集(7月頃～) 地域予選会における審査	⑫ 大阪代表商品の選考	講習会・ワークショップ (10月頃～)	販売の場調整 (1月頃～)
	大阪関西万博での中小企業の参画機会創出 ビジネスプロモーションツール等の整備 万博に向けた中小企業の参画機会の企画・準備(アプローチ)(バイヤー招聘、オンライン商談、国別セミナーなど)、中小企業の情報発信				
	万博を契機と した地域のもの のづくり魅力発信	参加企業の公募・選定 (5月末頃)	運営事業者の公募・選定 (9月末頃)	参加企業との調整、展示物やコンテンツ制作(10月以降～)	
	万博のテーマ 等に関する MICEの開催 誘致・支援		府、市、大阪観光局による事業周知(随時)		
		国際会議や学会等の主催者等を対象として助成対象事業の申請受付・助成金の交付(通年)【受付窓口：大阪観光局】			

〈これまでの取組実績〉

- ・令和5年9月19日・10月26日 第3回産業振興部会に向けた準備会を開催
 - ☞ 次年度に向けた府市の具体的取組案について情報共有・意見交換
- ・令和5年12月8日 第3回産業振興部会を開催(次年度の府市の具体的取組について情報共有・意見交換)
 - ☞ MICE(国際会議等)誘致・開催を担当する府 府民文化部を構成員に追加
 - ☞ 府内企業が万博のインパクトを広く享受するには会場内外での万博関連事業の拡大が重要であり、新たな取組みの実施が必要との認識を共有
- ・令和6年3月27日 第4回産業振興部会を開催(次年度の府市の具体的取組について情報共有・意見交換)
 - ☞ 会場外におけるビジネス機会及び万博への参画機会の創出・拡大も「取組みの柱②」に含まれていることを明確化し、事業連携して取り組むことを確認

〈構成〉 部会長：府民文化部長

副部会長：経済戦略局長

大阪府	大阪市
府民文化部、総務部	経済戦略局、建設局、区役所
大阪都市計画局	

【万博期間中の取組み（現時点）】

（１）大阪府・市関係部局の主催行事等での取組み

▶万博開幕直前直後期や大阪ウィーク開催時を好機として、大阪府・市関係部局の主催行事等でさらなる来場促進に取り組む

- ・「大阪来てな！キャンペーン」において、歴史文化、食など、大阪の魅力を体験できるイベントと、府内を周遊できる仕掛けを組み合わせ、国内外からの集客と府内周遊を促進
- ・「大阪国際文化芸術プロジェクト」において、大規模な文化芸術祭典を開催し、国内外からの多くの来阪者に大阪の文化芸術を提供
- ・上記の他、万博記念公園で実施するイベントや大阪の魅力を発信するイベント、スポーツイベント等において万博をPRを実施
- ・全国から大阪への誘客を図るため大阪デスティネーションキャンペーン（大阪DC）を実施

〔関連取組〕 御堂筋を実験フィールドとしたモビリティ実験やエリアマネジメント団体が実施する賑わいイベント等、万博と連携したショーケース事業の実施に向けた、フィールド提供や受け入れにかかる整備を実施

（２）府内市町村が主催する行事等との連携

▶府域全体での機運醸成と来場意向度の向上をめざし、地域連携イベント開催支援事業補助金を市町村に交付

- ・補助対象は、府内市町村が主催又は共催する万博の機運醸成を目的に含むイベント等に要する経費（R7債務負担行為あり）

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：3,381百万円

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
(1)大阪府・市関係部局の 主催行事等での取組み (主なイベント) R6当初:3,339百万円				
※大阪デスティネーションキャンペーンは一部堺市の予算を含む				
(2)府内市町村が主催する 行事等との連携 R6当初:42百万円				
(3)その他 PRツールの活用 R6当初:—				

〈これまでの取組実績〉

(1) 大阪府・市関係部局の主催行事等での取組み

- ・府内周遊や文化・スポーツなどの主催イベントにおいて、PRブースの出展等やミyakumiyakuを活用した機運醸成を実施
- ・大阪市24区役所がそれぞれ主体的に万博の機運を盛り上げるべく、地域特性を活かした「24区万博」を実施



大阪国際文化芸術プロジェクト



御堂筋ランウェイ



大阪マラソンEXPO

(2) 府内市町村が主催する行事等との連携

- ・令和5年度交付実績：21市町23事業 9,815千円



イルミネーションイベント



音楽イベント



地域の交流イベント

(3) その他

- ・PRツールの活用（のべ498件）

チラシ・ポスター提供 : 162件 [大阪府26件、大阪市111件、府内市町村25件]

PRグッズの提供 : 208件 [大阪府64件、大阪市106件、府内市町村38件]

ブース出展ツールの貸与 : 128件 [大阪府39件、大阪市68件、府内市町村21件]

※イベントの実施状況調査を定期的実施

- ・地域連携イベント部会の開催（計9回）

令和4年度 3回開催 [部会長・副部会長の選出、検討課題・スケジュールの共有など]

令和5年度 6回開催 [補助金事業の報告、機運醸成イベントの共有など]

〈構成〉 部会長：大阪府都市整備部長

副部会長：大阪市計画調整局長

大阪府	大阪市
都市整備部、スマートシティ戦略部、府警本部	計画調整局、都市交通局、建設局
万博推進局、大阪都市計画局、大阪港湾局	

【万博期間中の取組み（現時点）】

（１）交通の円滑化にかかる取組みを推進

▶府市等が実施する規制を伴う道路工事にかかる調整や占用事業者が実施する工事抑制への協力呼びかけ

- ・シャトルバスの運行ルートや来場者等の主要アクセスルートとなる阪神高速道路を補完する路線などで、TDMを強く呼びかける期間（10月～閉幕まで）、呼びかける期間（6月及び8月中旬から9月末）に、道路管理者による交通規制を伴う工事については、夜間工事への振替等を行うとともに、占用事業者に対しても協力を呼びかけ、工事抑制を実施

▶交通要所でのモニタリングの実施

- ・万博会場周辺及び会場へのアクセスルート上等の交通要所での交通監視用カメラ（ITV）等を活用、リアルタイムな交通状況を把握し、開催期間中の交通モニタリングを実施

（２）一般交通へのTDMの働きかけ実施

▶管理施設を活用した一般交通へのTDMの働きかけを実施

- ・管理施設でのサイネージ等を活用した啓発PRや開催期間中を通じて管理道路での歩道橋横断幕等を活用したTDMへの協力呼びかけ、TDM実施強度に応じて道路情報板による混雑情報等の情報発信を実施

※TDM：交通システムの利用効率を最大化する目的で移動者側に行動変更を促す諸施策

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：7,195百万円

※(1)(2)は部会参画各部局の取組みのR6当初予算額を合算

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
交通インフラの整備	<ul style="list-style-type: none"> ●係留施設整備（12月末完了予定） ●観光外周道路整備（12月末完了予定） ●(仮称)夢洲南高架橋（12月末完了予定） ●夢洲域内幹線道路拡幅（12月末完了予定） ●大阪メトロ中央線延伸(鉄道南ルート) 【令和7年1月末開業予定】 			
(1) 交通の円滑化、 環境創出の取組み ※主な取組み内容のみ記載 R6当初:7,003百万円	■ 万博来場者のアクセスルート等の整備			
	舗装、路面標示補修、自転車歩行者専用道への舗装等、工事の実施		⑫ 工事完了 (年内目標)	
	■ 広域的な自転車通行環境整備			
	自転車通行空間の整備、統一的な案内サイン等の設置		⑩ 広報を開始	
			③ 工事の完了	
■ 府市等が実施する規制を伴う道路工事にかかる調整や占有事業者が実施する工事抑制への協力呼びかけ				
関係者との調整		⑧ 占有事業者への働きかけの開始 (予定)		
		府市等の道路工事：実施に向けて関係機関との調整 占有者工事：協議会などの場を活用した協力働きかけ		
■ 交通要所での交通モニタリングの実施準備、対応案の検討				
		交通監視用カメラの設置工事、システム構築 など		
		③ 工事・システム構築の完了		
(2) 一般交通へのTDM働きかけ R6当初: 192百万円	■ 管理施設でのポスター掲示、チラシ配布、サイネージを活用した啓発PR			
	働きかけ内容調整・関係機関との調整（～11月）		⑪ 実施箇所内容を決定	
		働きかけの実施（12月～開催期間中）		
■ 管理道路（歩道橋）での横断幕等を活用した呼びかけ協力、道路情報板を通じた情報発信				
働きかけ内容調整・関係機関との調整（～11月）		⑪ 実施箇所内容を決定		
		所管施設の活用等による働きかけへの協力（12月～開催期間中）		

〈これまでの取組実績〉

(1) 交通インフラに関する情報の共有

- ・道路や鉄道、交通結節点など、交通インフラ整備にかかる情報共有を実施

(2) 交通の円滑化、環境創出にかかる取組み

- ・交通円滑化・環境創出にかかる、府市等の取組みを具体化
- ・シャトルバス等が走行する万博会場へのアクセスルートの車両走行環境整備を実施（継続中）
- ・万博期間中の工事抑制について、大阪府、大阪市を含む4道路管理者で方向性案（対象路線、時期、取組内容等）を確認

(3) 一般交通へのTDM働きかけ

- ・一般交通へのTDMの働きかけにかかる府市等の取組みを具体化し、関係機関との事前調整を実施



〈参考① 具体的な取組み：府市等が実施する規制を伴う道路工事にかかる調整や占用事業者が実施する工事抑制への協力呼びかけ〉

具体的な内容 ⇒ 大阪府、大阪市、堺市、国（近畿地整）の4道路管理者で方向性を統一

①対象期間

TDMを強く呼びかける期間（10月～閉幕まで）、呼びかける期間（6月及び8月中旬から9月末）

②対象路線・対象エリアの考え方（※具体的な対象路線は右図面参照）

- 大阪市内
 - ・主要アクセスルートとなる阪神高速道路を補完するルート
 - ・シャトルバス発着場などの主要集客エリア
- 大阪市域外
 - 上記市内路線に接続する路線（R423、R176、大阪池田線、大阪臨海線、R308）

③対象とする工事

下記のうち、交通規制を伴う工事

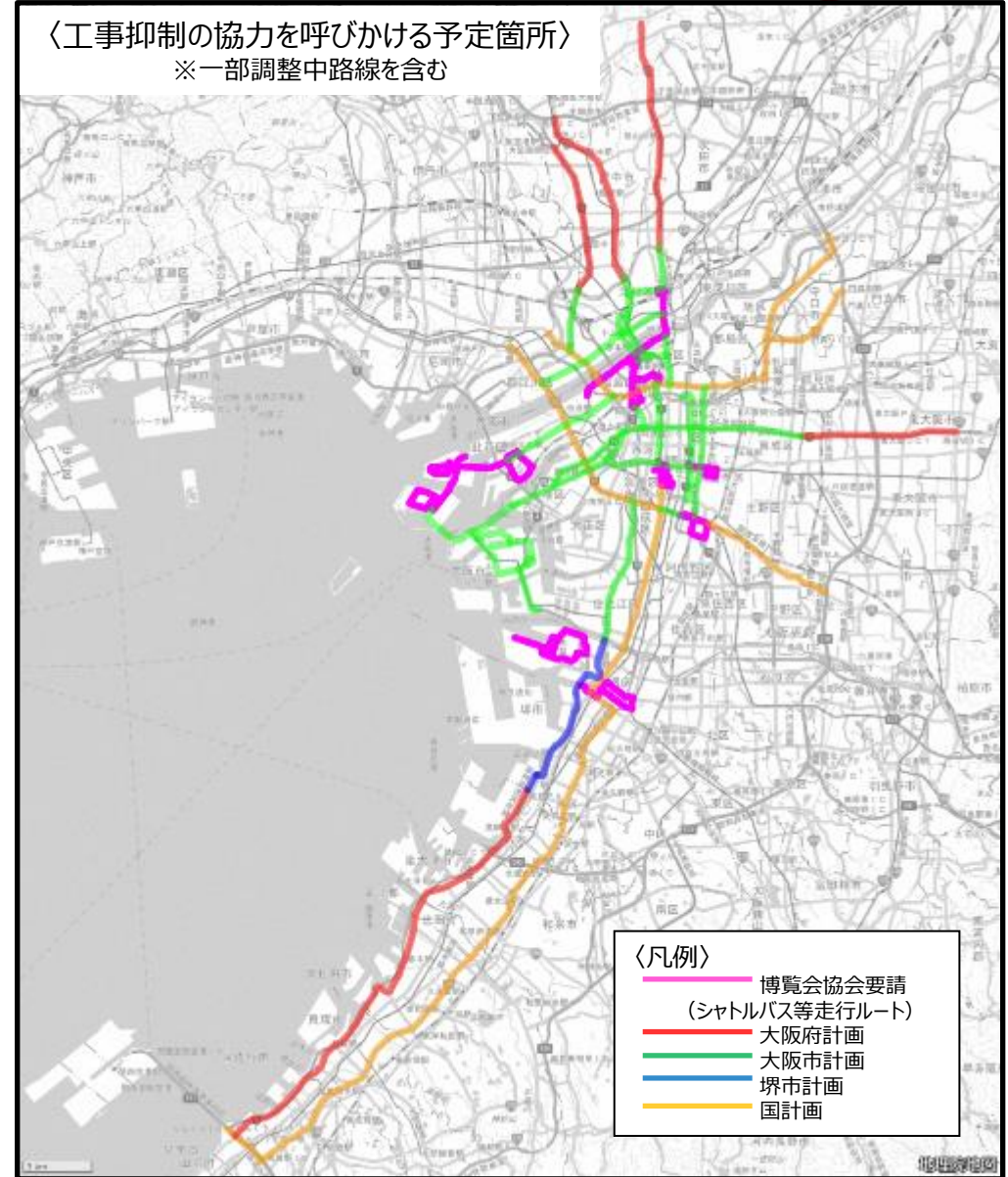
- i) 道路管理者が実施する道路工事
- ii) 占用事業者が実施する工事

※緊急対応工事、路面清掃等の維持系工事は対象外

工場の夜間振替等（交通量に応じた影響の少ない時間帯への振替え）

※万博開催期間中の交通状況によっては、臨機応変に対応方針の見直しを実施

- ・会場周辺及び会場のアクセスルート上等の交通要所での交通監視用カメラの設置など、
期間中の交通モニタリングの実施準備、対応案を検討



〈参考②〉：夢洲関連工事の進捗状況



夢洲内の基盤整備、ライフライン整備

- 水上交通ネットワークの整備（係留施設の整備）【令和6年12月末完了予定】
- 上水道整備、下水道整備
【上水道：令和7年3月末 下水道：令和6年12月末 完了予定】
- 夢洲域内観光外周道路整備【令和6年12月末完了予定】
- 夢洲域内高架道路整備
【北高架橋：令和6年9月末 南高架橋：令和6年12月末 完了予定】

既存道路の改良

- 此花大橋拡幅（4車線→6車線）【令和4年10月完了】
- 夢舞大橋拡幅（4車線→6車線）【令和4年8月完了】
- 夢洲域内幹線道路拡幅（4車線→6車線）【令和6年12月末完了予定】
- 舞洲幹線道路（高架橋整備等）【令和6年12月末完了予定】

鉄道の延伸

- 大阪メトロ中央線延伸（鉄道南ルート）【令和7年1月末開業予定】

物流車両対策

- 阪神港におけるコンテナ物流の効率化（AIターミナル）
- 夢洲物流車両の交通円滑化に向けた対策（コンテナ車待機場の整備等）



(仮称)夢洲北高架橋主桁架設完了
(令和5年11月)



(仮称)夢洲北高架橋上部工架設完了
(令和6年3月)



鉄道南ルート施工状況(令和6年1月)



線路(シールド)部



(仮称)舞洲東高架橋主桁架設中(令和6年3月)

〈参考③ 具体的な取組み：万博来場者の安全・円滑な移動にかかるアクセスルートの整備〉

- 万博来場者が、安全・円滑に会場までアクセスできるよう、**来場者ルート（阪神高速道路）を補完するルートやシャトルバス発着場など主要集客エリアにおいて、舗装補修や路面標示補修等の環境整備を実施**

具体的な内容

①対象路線

- ・博覧会協会が想定する来場者ルート（阪神高速道路）を補完するルート
- ・シャトルバス発着場など主要集客エリア（大阪市内）

②取組み内容

- ・舗装補修、路面標示補修、道路美化（構造物補修、街路樹剪定、補植、除草） など

【①舗装補修イメージ】



【②自転車歩行者専用道舗装補修イメージ】



【③路面標示補修イメージ】



【④道路美化（塗装塗替え）イメージ】



〈構成〉 部会長：大阪府福祉部長 副部会長：大阪市福祉局長

大阪府	大阪市
府民文化部、福祉部、都市整備部	区役所、都市交通局、計画調整局、福祉局、建設局

【万博期間中の取組み（現時点）】 ※部会に参画する各部局の取組みのうち主なものを抜粋

（１）誰もが快適に利用できる宿泊施設や観光・集客施設、飲食店の拡大

▶ 観光施設における心のバリアフリー認定施設の周知等による来阪旅行者の利便性向上や安全確保

- ・誰もが快適に利用できるよう、「観光施設における心のバリアフリー認定施設」の拡大・周知
- ・ユニバーサルデザインに準拠した観光案内表示板の整備（大阪市全域）、音声翻訳機の導入などの多言語対応、宿泊施設等のユニバーサル化、災害・避難誘導情報の多言語・視覚化対応、などによる来阪旅行者の利便性向上や安全確保

（２）情報アクセシビリティの確保をはじめとした事業者や府民理解の促進

▶ 来阪外国人の方に向けたヘルプマークの周知・配布及び障がい理解を促進するための周知・啓発

- ・障がい等を理由に援助や配慮を要する来阪外国人が適切に援助などを受けられるよう、宿泊施設等を通じたヘルプマークの周知・配布
- ・「あいサポート運動」や障がい者差別解消に向けた周知・啓発

（３）誰もが円滑に移動できるよう交通機関や道路等における環境整備の推進

▶ 小さな子ども連れの方が移動・外出しやすい社会づくり及び交通機関等のバリアフリー化による安全・安心な移動環境の確保

- ・ベビーカーや乳幼児連れの方が、公共交通機関を安心・快適に利用できるよう機運醸成を図り、移動・外出しやすい社会の実現
- ・鉄道駅舎や駅周辺の主要な生活関連施設に至る道路等の重点的かつ一体的なバリアフリー化の推進
- ・視覚障がい者用付加装置が整備された信号機によって、視覚障がい者、高齢者等の安全・安心な移動環境を確保


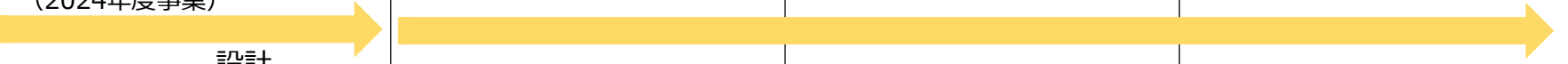
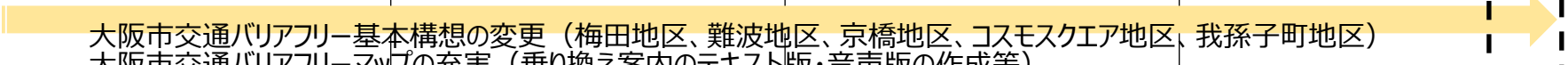
【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：1,731百万円

※部会に参画する各部局の取組みのうち主なものを抜粋
 ※予算額は各部局の全ての取組みを合算（一部のものも全額計上）

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
(1)-心のバリアフリー 認定推進事業【府】 R6当初:1.4百万円	事業内容検討、 関係機関との調整 契約締結	⑦ 第1回セミナー	⑩ 第2回セミナー	認定施設70以上 (到達目標)
(1)-市町村等観光振興 支援事業【府】 R6当初:80.5百万円 の一部	④ 募集開始	随時交付決定・補助金交付（予算上限に達するまで）		万博に向けた整備 ③
(1)-宿泊施設おもてなし 環境整備促進事業【府】 R6当初:34百万円 の一部		⑦ 募集開始	随時交付決定・補助金交付（予算上限に達するまで）	万博に向けた整備 ③
(1)-観光案内表示板機能 強化事業【市】 R6当初: - 万円		観光案内表示板整備		主要な観光施設への 整備完了 ③
(2)-障がい理解啓発 【府】 R6当初:5.7百万円	啓発冊子配布、府民へのヘルプマークの周知啓発、大阪ふれあいキャンペーンの実施など		⑪ 共に生きる障がい者展 の実施	
	事業内容検討、関係機関との調整		来阪外国人向けヘルプマークの周知 作成・宿泊施設等への配付	来阪外国人向けヘルプマーク の施設への配布完了 ③
(2)-ユニバーサル社会の 実現に向けた取組み （「あいサポート運動」等） 【市】 R6当初:14百万円			「あいサポート運動」や障がい者差別解消に向けた周知・啓発の継続実施	あいサポート運動 等の認知度の向上 ③

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：1,731百万円

※部会に参画する各部局の取組みのうち主なものを抜粋
 ※予算額は各部局の全ての取組みを合算（一部のものも全額計上）

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
(3)-ベビーカー(子ども・子育て世帯)外出 応援事業【府】 R6当初:25.9百万円	 <p>⑤ 事業者の選定</p> <p>広報啓発</p> <p>万博に向けた機運醸成 ③</p>			
(3)-信号機への視覚 障がい者用付加装置 の整備【府】 R6当初:119百万円	 <p>(2024年度事業) 設計</p> <p>(2025年度事業) 設計</p> <p>⑤ 要望とりまとめ 精査</p> <p>工事</p> <p>設計</p> <p>設計完了 ③ (2025年度設置分)</p>			
(3)-交通機関等のバリア フリー化の推進 【府・市】 R6当初:976百万円	 <p>大阪市交通バリアフリー基本構想の変更（梅田地区、難波地区、京橋地区、コスモスクエア地区、我孫子町地区） 大阪市交通バリアフリーマップの充実（乗り換え案内のテキスト版・音声版の作成等）</p> <p>④ ~交付決定・事業着手</p> <p>ユニバーサルデザインタクシーの普及促進（随時交付決定・補助金交付） 鉄道駅のバリアフリー化促進（可動式ホーム柵、エレベーター設置への補助等）</p> <p>万博に向けた整備 ③</p>			

〈これまでの取組実績〉

- 令和4年7月27日 第1回ユニバーサルデザイン部会を開催（部会長・副部会長を決定し、めざすべき姿と今後の進め方を検討）
- 令和4年10月 ユニバーサルデザインに関する府民意識調査を実施（ユニバーサルデザインの推進に係る府民ニーズや課題を整理）
- 令和5年3月3日 第2回ユニバーサルデザイン部会を開催（中間とりまとめ（各部局の現在の取組み及び今後の方向性）を決定）
- 令和6年3月21日 第3回ユニバーサルデザイン部会を開催（主な事業及び新規事業のロードマップを整理）

〈構成〉 部会長：大阪府市万博推進局長

大阪府	大阪市
政策企画部、総務部、府民文化部、福祉部、教育庁	区役所、経済戦略局、福祉局、こども青少年局、教育委員会事務局
万博推進局	

【万博期間中の取組み（現時点）】

（１）ボランティア活動を通じた万博への参加

▶約 2 万人の大阪・関西万博ボランティアが、万博会場や大阪のまちなかで、国内外からの来場者をおもてなし

- ・万博会場においては、入場ゲートやエントランス広場等における来場者の歓迎や案内、美化活動のサポート、案内所や休憩所等での運営を補助。大阪ヘルスケアパビリオンにおいては、来館者への案内や観覧サポートなどを実施
- ・大阪のまちなかにおいては、関西国際空港や大阪国際空港に加え、新大阪駅や大阪駅、なんば駅など府内の主要駅で、交通案内や万博・観光情報の案内等を実施
- ・大阪市内の交流スペースでは、参加者同士が活動内容に関する意見交換等を行い、参加者のアイデアや自発的な取組みを活かした活動を展開

（２）大阪の子どもたちを万博に招待

▶大阪の子どもたち約102万人が、府や市町村から配付された入場チケットにより、万博会場で未来社会を体験

- ・「大阪府」府内の小・中・高校生等（約88万人）を、学校教育活動の一環として、万博会場へ招待。あわせて府内在住の4・5歳児や府外の学校への通学者等（約14万人）についても、万博会場へ招待
- ・「大阪市」大阪市内在住の子どもたち（4～17歳）については、府の取組みに加えて、夏休み期間中に何度でも入場できる夏パスを配付
- ・「その他市町村」各々の判断で、府の取組みにあわせた子ども等の招待を実施

(3) 大阪の魅力発信に向けたオール大阪による催事参加

▶万博会場内で、府内43市町村・大阪市域24区が一体となって、地域の魅力を発信する「(仮称)大阪ウィーク」を開催

- ・2025年「春」5月8日(木)～18日(日)、「夏」7月24日(木)～8月3日(日)、「秋」9月5日(金)～17日(水)の3期にわたり、“祭”をキーワードに様々な催事を展開
- ・EXPOメッセでは、3期を通して、大阪の観光や産業、食文化などを来場者に体験してもらう「大阪43市町村の祭典」を開催
- ・EXPOアリーナでは、春には大阪各地のだんじり・やぐら・太鼓台などが大集合、夏には来場者も参加のもと盆踊りで世界記録に挑戦、秋には大阪ゆかりの音楽フェスティバルを開催。その他の催事場においても、府市の各部局や各区、府内市町村が地域の特色を生かしたイベントを実施

(4) 障がい者や高齢者などの催事参加

▶「(仮称)大阪ウィーク」で、障がい者や高齢者などが参画する舞台芸術や現代アート展等を開催

- ・「(仮称)大阪ウィーク」の期間中に、万博会場内のEXPOホールやギャラリーWESTなどにおいて、障がいのある人やない人、プロやアマチュアのダンサーなど、多様な方々によるダンス作品の発表や、障がいのあるアーティストの作品による現代アートの展示会を開催
- ・加えて、府内の障がい者や高齢者関連団体等の取組みを発信する催事を開催

(5) 万博を契機とした国際交流

▶万博参加国と府市各部局や各区・市町村が様々な国際交流を展開

- ・海外参加国の万博関係者を地元の学校等に招待。講演会や授業等の実施に加え、学生等が相手国パビリオンを訪問する交流事業等を実施
- ※R6 交流相手国：◀大阪府▶フランス、米国、オーストラリア、アラブ首長国連邦、ベトナム、イタリア、中国、インドネシア ◀大阪市▶オーストラリア、中国、ブラジル、ドイツ、韓国 ◀その他市町村▶フランス、米国、スイス、中国、ウガンダ、タンザニア、オーストラリア、韓国、セネガル、エチオピア 等

(6) 修学旅行など全国からの誘客促進

▶全国から多数の修学旅行生等が来阪し、大阪府内各地を周遊

- ・修学旅行生等に対する宿泊税の課税免除や、大阪における体験型教育プログラムの取組み等を通じて、修学旅行生等が府内各地を周遊。

【2024年度の取組み】

R6年度当初予算：1,565百万円 ※(1)(3)は万博推進局予算、(2)(4)(5)(6)は各部局予算(万博推進局以外)



項目	1Q	2Q	3Q	4Q
(1) ボランティア活動を通じた万博への参加 R6当初:726百万円	募集の広報 (~4月末)	応募者の活動希望内容等を整理した上で面談(5~8月)	基本研修・リーダーシップ研修(9月~)	配置別研修(1月~)
		⑧参加者(1次募集分)決定		2次募集(予定)
(2) 大阪の子どもたちの万博会場への招待 R6当初:415百万円	学校毎の来場人数等を調査(~5月末)	学校の意向等を踏まえ来場人数・日時等を博覧会協会と調整	⑩協会に仮予約	各学校の見学ルートなどの詳細を博覧会協会等と調整
	4・5歳児等向けの入場チケット申請システムの構築等(4~8月)	⑨申請受付スタート	各家庭等からの入場チケットの申請を受付	
	府内市町村との連携調整	府民への広報周知、コールセンターの設置運営(7月~)		
(3) 大阪の魅力発信に向けたオール大阪による催事参加 R6当初:298百万円	実施運営等事業者の選定(4月)	企画内容の具体化・団体等への出展依頼・調整。演出方法の調整等	⑨大阪ウィークの概要を決定 広報・プロモーションを開始	各イベント実施に向けた準備・各種手配など
(4) 障がい者や高齢者などの催事参加 R6当初:56百万円	実施運営等事業者の選定(4~5月)	障がい者等が参画する舞台芸術等の稽古、現代アート展の展示作品の収集、府外プレ展示など	⑨催事概要を決定	団体等との準備・調整など(稽古の実施等)
	テーマ、企画検討、団体等にヒアリング	団体・出演者調整		
(5) 万博を契機とした国際交流 R6当初:27百万円	府内市町村や府市部局・区に対し、国のモデル事業として先行実施した事例等を周知し横展開			
	④国の採択(随時)	府市等が国に申請し採択された取組について、国際交流イベント等(会期前交流)を実施		
(6) 修学旅行など全国からの誘客促進 R6当初:43百万円		旅行事業者や学校関係者等に対し、修学旅行生等の誘客につながる情報等を提供		③修学旅行等の来阪概ね確定
		修学旅行生等誘客の追加施策等を検討		

〈これまでの取組実績〉

(1) ボランティア活動を通じた万博への参加

- ・ ボランティア団体や大学等との活動内容等に関する意見交換や、活動場所確保に向けた交通事業者等との調整を実施
- ・ 2024年1月～ボランティアセンターを開設し、博覧会協会とともにボランティア募集を開始（2024年1月26日～4月30日）

(2) 大阪の子どもたちの万博会場への招待

- ・ 博覧会協会による入場券制度の決定後に、府が子ども招待事業の全体概要を発表。その後、府内の小中高校生等を学校単位で1回招待するための補正予算や、府内在住の4・5歳児等へ入場チケットを1枚配付するための予算を確保
- ・ 府内市町村と意見交換を重ねつつ、市町村の取組みにも活用できるよう、府の事業スキームを制度設計。
- ・ 大阪市では、市内在住の子どもたちへ夏パスを配付するための予算を確保

(3) 大阪の魅力発信に向けたオール大阪による催事参加

- ・ 府内市町村や府市部局、区に対し、自治体催事への参加意向調査やヒアリング、説明会等を実施
- ・ 府内全市町村が参画する市町村催事参加委員会等を通じて、催事の企画内容の検討を行い、博覧会協会へ企画書を提出
- ・ 2024年2月、「(仮称)大阪ウィーク」の催事場所や日程について、博覧会協会から内定

(4) 障がい者や高齢者などの催事参加

- ・ 舞台芸術の出演者募集や、台本作成、稽古を開始。現代アート展の実施運営事業者の公募を実施
- ・ 一般参加催事の募集について、障がい者・高齢者関連団体等への周知・参加の呼びかけ等を実施

(5) 万博を契機とした国際交流

- ・ 国のモデル事業の公募にあたり、府内市町村等へ周知。府内から5市が選定され事業実施。先行事例として市町村等に紹介
- ・ 2024年度以降本格実施しており、万博参加国との交流計画書を提出した大阪府・大阪市、その他府内8市が4月に第1次分として選定

(6) 修学旅行など全国からの誘客促進

- ・ 修学旅行生等の誘客施策（修学旅行生の宿泊税の課税免除や体験型教育プログラムなど）をパッケージ化し、各施策を推進

〈構成〉 部会長：大阪府環境農林水産部長 副部会長：大阪市環境局長

大阪府	大阪市
環境農林水産部、商工労働部、政策企画部	環境局、経済戦略局、政策企画室

【万博期間中の取組み（現時点）】

（1）カーボンニュートラル

▶カーボンニュートラルに資する技術等を会場内外で披露するとともに、CO₂排出量の見える化により脱炭素行動を拡大

- カーボンニュートラルに資する技術の試作開発や実証等の取組みのほか、H2Osakaビジョン推進会議参画事業者による水素製造・発電等の実証実験の実施やブルーカーボン生態系を再生・創出(大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス (MOBA) を令和6年1月24日付けで設置)。
- カーボンニュートラルに資する技術の試作開発や実証等の取組みや、全固体Liイオン電池の要素技術の研究開発、大阪広域環境施設組合舞洲工場でのメタネーション実証等を万博会場内外で披露。
- 脱炭素経営宣言登録制度 (6,626件_2024.3月末現在) や府民の脱炭素行動によるCO₂削減量の見える化事業 (「脱炭素エキデン365」※プロジェクトを発足)、修学旅行等を対象としたCO₂排出量の少ない「脱炭素化ツアー」などを実施。事業者・府民の行動変容を促進。

※「脱炭素エキデン365」
企業の従業員、府民一人ひとりの行動変容による
CO₂排出抑制に取り組むプロジェクト

(2) ゼロエミッションモビリティ

▶万博会場へのアクセス等でEV・FCバスを活用

- ・府域のバス事業者等においてEV・FCバスを導入し（約100台）、府域の公共交通機関のゼロエミッション化を促進。

(3) 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン

▶オール大阪で府域の清掃活動の活性化を図るなど、海洋プラスチックごみ対策を促進

- ・「おおさかプラスチック対策推進プラットフォーム」モデル事業として、人工芝片等の流出抑制に向けた取組みやマイボトルスポットの普及を促進。
- ・新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの推進（大阪市内155地域_2024.4月現在）など、プラスチックごみゼロに向けた対策を実施。
- ・バイオプラスチック製品のビジネス化プロジェクトの組成支援や、製品開発の取組みを実施。
- ・街・川・海にごみのないきれいな大阪を実現するため、「OSAKAごみゼロプロジェクト」を立ち上げ、企業・市町村等と連携して大規模キャンペーンを実施するなど、オール大阪で府域の清掃活動の活性化等を図る。
- ・マイボトル・マイ容器利用店舗等の拡充を図るとともに、バイオプラスチック製品のビジネス化プロジェクトの組成・開発の支援、新たなペットボトル回収・リサイクルシステムを推進することなどによりプラスチックごみ削減対策を促進。

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：1,982百万円

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
(1) カーボンニュートラル ①800百万円 ②③ — ④44百万円 ⑤25百万円 ⑥56百万円 (11百万円+45百万円) ⑦43百万円	○最先端技術の開発・実用化 ①水素関連技術等、カーボンニュートラルに資する技術の試作開発や実証等の取組みに対する補助 ⑥ 技術開発・実証事業者の選定 ②全固体Liイオン電池の要素技術の研究開発 ③大阪広域環境施設組合舞洲工場でのメタネーション実証 ④ブルーカーボン生態系創出に係る事業者募集 ④ 募集開始	⑦ 順次交付決定・事業着手	万博会場への移設	万博期間中の展示予定等プレス発表 創出・モニタリング
	○事業者や府民の行動変容 ⑤クレジットの創出：CO ₂ 削減効果のモニタリング ⑥カーボンフットプリントを活用したCO ₂ 排出量の見える化・CO ₂ 削減量を可視化するアプリの利用を促す呼びかけ（年4回） ⑦脱炭素化ツアーのPRの実施 (小・中・高へPR・EXPOグリーンチャレンジアプリの利用推進)	③ ⑨ ツーリズムEXPOジャパン2024でPR	集約 クレジット化	クレジット認証
(2) ゼロエミッション モビリティ ⑧971百万円	④ 募集開始	⑧EV・FCバス導入事業者の募集 ③ ⑨ 順次交付決定・事業着手 (R5まで:57台→目標:約100台)	③ ⑩ 導入完了	⑩ 導入完了
(3) 大阪ブルー・ オーシャン・ビジョン ⑨ — ⑩40百万円 ⑪3百万円	⑨ごみゼロプロジェクトの実施 ⑤ マatching支援 委託事業者選定	⑤～⑥キックオフイベント ⑥ 製品開発事業者決定	⑩バイオプラスチック製品のビジネス化プロジェクトの組成・開発の支援 ⑫ 万博での出展企画検討	⑫ 万博での出展企画検討
	⑪「新たなペットボトル回収・リサイクルシステム」の推進			

〈これまでの取組実績〉

(1) カーボンニュートラル

- ・カーボンニュートラルに資する技術の試作開発や実証等の取組みに対する補助実施（13件）
- ・大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）を令和6年1月24日付けで設置
- ・「脱炭素エキデン365」※プロジェクトを発足（府はオフィシャルパートナーとしてともに推進）
- ・修学旅行等を対象としたCO₂排出量の少ない「脱炭素化ツアー」を企画・開発、学校へのプロモーションを実施、事業者HPにて募集開始

※「脱炭素エキデン365」
企業の従業員、府民一人ひとりの行動変容による
CO₂排出抑制に取り組むプロジェクト

(2) ゼロエミッションモビリティ

- ・EV・FCバスを導入するバス事業者への補助実施（EVバス57台/約100台導入済み）

(3) 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン

- ・おおさかプラスチック対策推進プラットフォームモデル事業の発信・府域展開（人工芝片等の流出抑制に関するガイドラインを各市町村に周知）
- ・「新たなペットボトル回収・リサイクルシステム」の推進（大阪市内155地域_2024年4月現在）

〈これまでの検討状況〉

- 令和4年9月20日 第1回環境部会を開催（部会長・副部会長を決定、今後の取組みの方向性を確認）
- 令和4年10月～ 博覧会協会のワーキングや、RITEのコンソーシアムに参加（計25回）
万博におけるカーボンニュートラルの実現等に向けた取組みについて情報収集・意見交換
- 令和5年3月16日 第2回環境部会を開催（万博に向けた府市の具体的取組・要望について情報共有・意見交換）
- 令和5年9月14日 第3回環境部会を開催（令和5年度の具体的取組及び令和6年度事業の情報共有・意見交換）

スーパーシティの推進に関する取組み（スーパーシティ部会）

スーパーシティ部会としては、スーパーシティの推進に関して、以下の通り検討を進めている。

大阪府	大阪市
スマートシティ戦略部	デジタル統括室、経済戦略局

【万博期間中の取組み（現時点）】

（１）ヘルスケア

- ▶「大阪ヘルスケアパビリオン」において、ヘルスケアデータに基づく未来の医療・健康サービスを提供
 - ・PHRポッドで取得する健康に関するパーソナルデータに基づき、一人ひとりにパーソナライズされた栄養や身体、ココロに関するミライのヘルスケア体験を提供
 - ・医療をはじめ、住まいや公共空間など、様々な観点から「ミライの都市生活」を体感できる展示を展開

（２）モビリティ

- ▶万博までのアクセスや会場内において自動運転、空飛ぶクルマやMaaS等ストレスフリーな移動サービスを提供
 - ・万博会場へのアクセスや会場内移動の一部においてバスの自動運転（レベル4相当）を実施
 - ・会場外ポートから万博会場を結ぶ、空のアクセスとしての空飛ぶクルマの社会実装
 - ・万博関連情報の連携による関西MaaSの機能拡充

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：大阪府市11百万円

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
■夢洲コンストラクション (1)・主な先端的サービス ・ORDENを活用した データ連携	サービスの内容検討・実証 データ連携の検討	データ連携の実施・実証		
■万博 (2)大阪ヘルスケアパビリオン	展示設計・製作			設置
(3)自動運転	サービスの内容検討・実証			
(4)空飛ぶクルマ ※産業振興部会資料を再掲	会場外における離着陸場等の整備を支援			
(5)MaaS	サービスの内容検討・実証			
<規制改革> R6当初:11百万円	国との協議・区域計画などを通じた規制改革の実現 ●区域会議（以降、都度開催される特区WGや区域会議へ参加）			

〈これまでの取組実績〉

○令和4年4月12日 大阪市域がスーパーシティ型国家戦略特別区域に指定

○令和4年6月14日 第1回スーパーシティ協議会を開催

全体計画の策定や推進にあたり、府市、経済界及び博覧会協会等で構成される大阪スーパーシティ協議会で意見交換を実施

- ・第2回（書面） 令和4年9月5日～9月9日
- ・第3回 令和4年12月27日
- ・第4回（書面） 令和6年3月22日～3月28日

○令和4年12月27日 「大阪スーパーシティ全体計画」を策定

大阪のスーパーシティがめざす姿、指定区域で実施をめざす先端的サービス及び規制改革の内容などを取りまとめ

参考：大阪のスーパーシティ構想の概観

データで拡げる“健康といのち”

2023年度～
夢洲コンストラクション

3つの円滑化を推進

1. 建設工事現場内外の移動
2. 建設工事及び資材運搬
3. 建設作業員の安全・健康管理



2025年度
大阪・関西万博
テーマ
いのち輝く
未来社会のデザイン



提供：2025年日本国際博覧会協会



2つのグリーンフィールド

- ・夢洲
- ・うめきた2期



2024年度～
うめきた2期
中核機能のテーマ
ライフデザイン・イノベーション

イメージバース（提供：グラングリーン大阪開発事業者）

○令和5年10月20日 大阪府・大阪市スーパーシティ型国家戦略特別区域 区域計画が内閣総理大臣により認定

- ・大阪・関西万博に関する仮設建築物の建築
万博会場へのシャトルバスターミナルの仮設待合所について、仮設建築物の建築の特例を適用
- ・大阪広域データ連携基盤（ORDEN） など

〈構成〉 部会長：万博推進局長

大阪府	大阪市
政策企画部、府民文化部、商工労働部、都市整備部	政策企画室、経済戦略局、建設局
大阪港湾局、大阪府市万博推進局	

【万博期間中の取組み（現時点）】

(1) 国内外からの賓客に対する適切な接遇の実施

▶ 皇室や総理大臣等の国内賓客、参加国・国際機関からの海外賓客を丁寧におもてなし

- ・大阪・関西万博では、愛知博の約1.3倍の約160か国・9国際機関が参加（現在の1日当たりの想定接遇件数約4件）
- ・知事、市長、副知事、副市長の対応が基本

（参考）愛知博における賓客接遇実績

- ・愛知博では120か国・4国際機関が参加。愛知県はナショナルデー・スペシャルデー（以下「ND等」という）の機会を中心に約500件、約5,600人に対し賓客接遇を実施。6か月の開催期間中104日接遇対応

	種別	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	合計
件数	国内	7件	24件	34件	31件	45件	42件	35件	218件	489件
	海外	12件	47件	33件	40件	40件	40件	59件	271件	
人数	国内	53人	192人	266人	234人	354人	269人	342人	1,710人	5,589人
	海外	137人	735人	381人	733人	419人	472人	1,002人	3,879人	

(参考) 接遇イメージ

標準スケジュール		参加国の動き	地元自治体の動き
ND前日		参加国開催地到着	地元自治体代表者が空港 又は出迎え
ND 当日	9 : 30	参加国迎賓館到着	
	10 : 00	公式式典	地元自治体代表者が出席
	11 : 10	会場視察	
	12 : 15	午餐会	
	13 : 20	記者会見	
	夕刻	参加国による答礼レセプション	地元自治体代表者が出席

賓客

国内賓客

- ・皇室関係
- ・内閣総理大臣、各省庁大臣
- ・衆参両院議長、副議長
- ・各省庁副大臣、政務官
- ・国会議員
- ・各都道府県知事
- ・各政令市市長
- ・各都道府県議会議長
- ・各政令市議会議長
- ・上記に準ずる者

海外賓客

- ・国王、王族、大統領、首相、副大統領、その他三権の長
- ・副首相、閣僚、国際機関の長
- ・副大臣、政務次官、国会議員、最高裁判事、国際機関の幹部、知事、駐日特命全権大使
- ・県（州）議会議長、議員、市長、中央省庁幹部、駐日臨時代理大使、総領事
- ・上記に準ずる者

(2) 賓客来訪に伴う物流車両滞留対策の実施

- ▶ 皇室・国内外の賓客の来場に伴う交通規制実施を想定して、コンテナターミナルに来場するコンテナ車両の円滑な交通を確保
- ・大阪・関西万博会期中は皇室や賓客の来場のために会場周辺の交通規制が実施されることが想定される。
 - ・コンテナターミナルに来場するコンテナ車両の円滑な交通を確保し、接遇に支障をきたさないようにするための取組について、港湾関係者と調整を図る。

【2024年度の取組み】 R6年度当初予算：1億21百万円

項目	1Q	2Q	3Q	4Q
(1)国内外から賓客に対する適切な接遇の実施 R6当初:1億6百万円	接遇実施内容、体制の検討協議	検討・協議結果を踏まえ各種マニュアル作成	⑩ 実施内容・運用ルール等の確定	
	2025年度分通訳等の確保とシフト案の作成		⑩ 通訳等シフト案確定	
	地元歓迎レセプションのテーマ案及び会場決定	運営・警備計画策定、招待者検討	運用ルール、賓客情報等に基づきシフトの再調整	① レセプション規模確定
(2)賓客来訪に伴う物流車両滞留対策の実施 R6当初:15百万円	コンテナ車両の円滑な交通を確保し 接遇に支障をきたさないようにするための取組について港湾関係者と調整			

〈これまでの取組実績〉

- ・賓客として接遇すべき対象の範囲及び接遇内容の整理。
- ・上記を踏まえた賓客接遇要綱・要領素案の検討。
- ・接遇実施にあたって必要となる予算確保のためのスケジュール及び考え方を関係部局へ共有。
- ・2023年度来阪賓客に係る情報共有や環境整備などの対応の実施。
- ・大阪・関西万博出展準備のために来訪した海外賓客に対して接遇を実施（2023年度万博推進局のみでの対応件数約40件）。



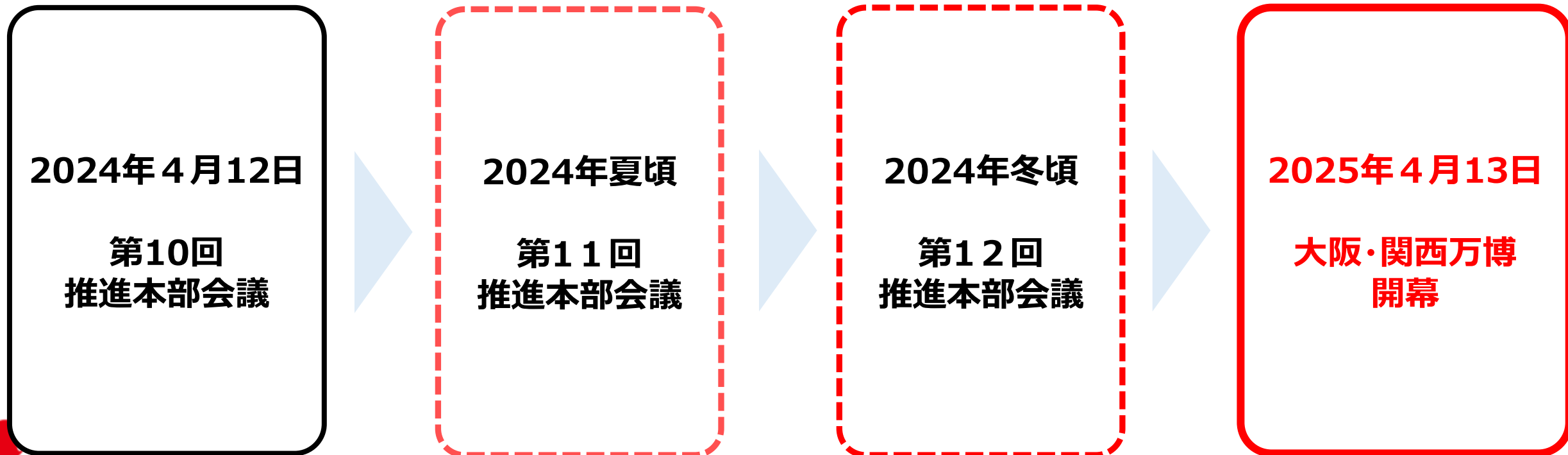
2023年9月20日 チェコ政府代表による知事への表敬訪問



2024年1月15日 ベルギー政府代表及び駐日大使による市長への表敬訪問

大阪・関西万博まであと1年。開幕準備の総仕上げに向け、各専門部会が目標を設定して取組を進める
推進本部会議において、適宜、それぞれの進捗状況を共有し、府市一丸となって開幕に向けて万全を期す

(今後の予定)



3. 大阪府域の経済波及効果



大阪府域の経済波及効果

- 3月29日 経済産業省から、大阪・関西万博の経済波及効果の再試算結果として総額約2.9兆円の発表
- これを受け、大阪府・市として経済産業省と同じインプットデータをベースに試算したところ、大阪府域での経済波及効果（府外に漏出する経済効果が府域へ戻る分は含まず）は、約1.6兆円と推計された。
- 大阪府域の経済波及効果(約1.6兆円)は、全国における同効果(約2.9兆円)の 56%に相当

【 行 政 】

試算主体	対象地域	経済波及効果の 試算概要	産業関連表	試算の前提条件
経済産業省	全国	約2.9兆円	総務省産業関連表 (2015年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建設投資 3,537億円 (会場建設費：2,350億円) ■ 運営・イベント 3,490億円 (運営費：1,160億円) ■ 来場者消費 7,050億円
大阪府・市	大阪府域	約1.6兆円	大阪府産業関連表 (延長表:2018年)	同 上

【 (参考) 民間シンクタンク 】

(一財) アジア太平洋 研究所 【APIR】	全国	約2.7兆円 ※基準ケース	APIR 地域間産業関連表	<ul style="list-style-type: none"> ■ 万博関連事業費 7,275億円 (会場建設費：2,350億円) (運営費：1,160億円)
	大阪府域	約2.1兆円		<ul style="list-style-type: none"> ■ 来場者消費 8,913億円

大阪・関西万博の経済波及効果試算(大阪府と全国)

(単位：億円)

機関名	産業連関表	算定時期	対象地域	前提条件 (名目)		試算結果 (2025年度基準)	大阪府 対全国比
大阪府	大阪府産業連関表 (延長表、2018年)	2024年4月	大阪府	総額	14,077	16,182	56%
				建設・運営費計	7,027	8,965	58%
				建設投資	3,537	5,732	67%
				運営・イベント	3,490	3,233	47%
				来場者消費	7,050	7,217	52%
経済産業省	総務省「産業連関表」(2015年)	2024年2月	全国	総額	14,077	29,155	
				建設・運営費計	7,027	15,378	
				建設投資	3,537	8,570	
				運営・イベント	3,490	6,808	
				来場者消費	7,050	13,777	

資料：経済産業省および大阪府による試算結果

【分析方法】

- 経済波及効果の試算には、「平成30年大阪府産業連関表(延長表)【汎用版】経済波及効果推計ツール(37部門)」を用いた。
- 試算の前提となる新規需要額は、経済産業省において再試算の前提条件とされたインプット数値を用い、それがすべて新規需要として大阪府内で発生するとの前提で、府域での経済波及効果を算出した。
- 試算は、2025年度基準価格で行った。